

DEH-P630

CD/USB/チューナー・WMA/MP3/AAC/WAV 対応メインユニット

取扱説明書

目次 4ページ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)



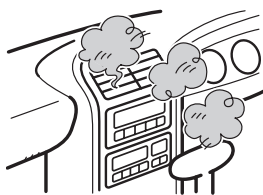
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常がございましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

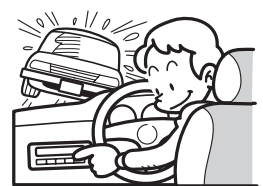
ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

[使用方法]

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

目次

はじめに

はじめに

- 1 本書のみかた 8
- 2 各部のなまえ 9
- 3 ご使用になる前に 12
- 4 デモモードについて 14
- 5 リモコンの準備 14
- 6 本機のリセットについて 15
- 7 フロントパネルの取り外しかた/
取り付けかた 16
- 8 サブウーファースの設定について 18

ここだけで

ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 基本的な操作 20
 - 電源オン・オフ
 - ソース切り換え
 - 音量調節
- 2 CDのふだんの操作 22
 - CDを再生する
 - フォルダー・ディスクを選ぶ
 - 曲を選ぶ
 - 早送り・早戻し
 - CDを取り出す
- 3 ラジオのふだんの操作 24
 - バンドを選ぶ
 - 選局
- 4 USB機器のふだんの操作 25
 - USB機器の曲を再生する
 - フォルダーを選ぶ
 - 曲を選ぶ
 - 早送り・早戻し
- 5 iPodのふだんの操作 26
 - iPodの曲を再生する
 - 曲を選ぶ
 - 早送り・早戻し
- 6 よく使う機能をボタンで
すぐに操作する 27

CD

CDを聞く

- 1 曲を直接選ぶ 28
- 2 ファンクションメニューの
切り換えかた 28
- 3 繰り返し再生する 30
- 4 違う曲順で再生する 31
- 5 曲/フォルダー/ディスクをさがす 31
- 6 再生を一時停止する 32
- 7 音を聞きやすくする 33
- 8 音声を高音質化する 34
- 9 聞きたい曲を指定する 34
- 10 指定した曲だけ再生する 35
- 11 曲の指定を1曲ずつ解除する 36
- 12 曲の指定をCDごとに解除する 36
- 13 CDのタイトルを入力する 37
- 14 タイトルやアーティスト名を
表示させる 38
- 15 タイトルを見て聞きたい
CDをさがす 39
- 16 曲名を見て聞きたい
曲をさがす 39
- 17 タイトルを見て聞きたい
フォルダーや曲をさがす 40

ラジオ

ラジオを聞く

- 1 放送局を1局ずつ登録する 41
- 2 登録した放送局を呼び出す 41
- 3 ファンクションメニューの
切り換えかた 42
- 4 複数の放送局を自動的に登録する 43
- 5 放送局名を見て聞きたい放送局を
呼び出す 44
- 6 放送局名を選ぶ 44
- 7 放送局名を表示する 45

目次

BT
Audio

BT AUDIO を聞く

- 1 BT Audio のふだんの操作 60
- 2 ファンクションメニューの切り換えかた 61
- 3 本システムのデバイス情報を確認する 62

携帯電話

携帯電話を使う

- 1 電話の待ち受けソースにする 63
- 2 電話番号を入力して電話をかける 64
- 3 プリセットダイヤルで電話をかける 64
- 4 音声操作で電話をかける 65
- 5 かかってきた電話に出る 65
- 6 かかってきた電話を切る(着信拒否) 66
- 7 ファンクションメニューの切り換えかた 66
- 8 携帯電話を接続する 68
- 9 Bluetooth 接続を解除する 69
- 10 携帯電話を登録する 69
- 11 登録されている携帯電話を接続する 70
- 12 携帯電話の登録を削除する 71
- 13 携帯電話の電話帳を転送する 71
- 14 電話帳の表示方法を切り換える 72
- 15 電話帳を使う 72
- 16 履歴から電話をかける 74
- 17 よくかける電話番号を登録する 74
- 18 データを消去する 75
- 19 電話番号を入力して電話をかける 75
- 20 通話中のノイズやエコーを軽減する 76
- 21 着信音を ON / OFF する 76
- 22 着信拒否を設定する 77
- 23 自動着信を設定する 77
- 24 本システムのデバイス情報を確認する 78

テレビ

テレビを見る

- 1 テレビのふだんの操作 79
- 2 ファンクションメニューの切り換えかた 80
- 3 チャンネル一覧から見たいチャンネルを呼び出す 81

DVD

DVD を再生する

- 1 DVD のふだんの操作 82
- 2 ファンクションメニューの切り換えかた 83

音の調節

音を調節する

- 1 オーディオ調整メニューの切り換えかた 85
- 2 お好みの音の空間に設定する 86
- 3 前後左右の音量バランスを調節する 86
- 4 イコライザーカーブを選ぶ 87
- 5 イコライザーカーブを大まかに補正する 87
- 6 イコライザーカーブを細かく調節する 88
- 7 小さな音量でも聞きやすくする 89
- 8 サブウファーを使う 89
- 9 サブウファーの ON / OFF と位相切り換え 90
- 10 サブウファーのカットオフ周波数選択とレベル調節 90
- 11 低い音を強調する 91
- 12 低い音を出力しないようにする 91
- 13 各ソースの音量を揃える 92
- 14 騒音に合わせて自動的に音量を変える 92

初期設定

初期設定

- 1 初期設定メニューの切り換えかた 93
- 2 日付を合わせる 94
- 3 時計を合わせる 94

お買い上げ後すぐにお使いになりたいときは、「ここだけ読めばすぐ使えます」の項目をお読みください。CD やラジオなどの基本的な操作方法を説明しています。

基本操作以外の便利な機能については、「CD を聞く」や「ラジオを聞く」、「音を調節する」など、それぞれの項目をお読みください。

マークについて



注意マーク

安全のために必ず守っていただきたいこと、本機を操作するときの注意事項、性能を維持するための注意事項について説明しています。



用語説明マーク

操作や機能などの用語について説明しています。



メモマーク

操作上のヒント、便利な使いかたなどについて説明しています。



CDマーク

内蔵CDでCDを再生するときの操作方法を説明しています。



CD-ROMマーク

内蔵CDでWMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを再生するときの操作方法を説明しています。



マルチCDマーク

別売のマルチCDを本機に接続して使用するときの操作方法を説明しています。

本体（クローズ時）

SRC/OFFボタン

(E3※ ここだけで ① 20ページ)

DISP/SCROLLボタン

(E3※ ここだけで ⑥ 27ページ)

ロータリーコマンドー

S.Rtvボタン

(E3※ ここだけで ⑥ 27ページ)

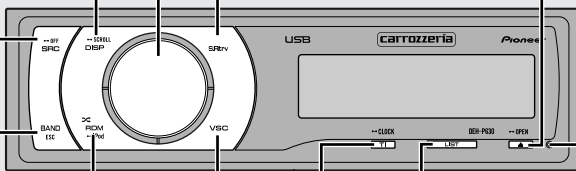
▲/OPENボタン

(E3※ はじめに ⑦ 16ページ)

(E3※ ここだけで ② 22ページ)

リセットボタン

(E3※ はじめに ⑥ 15ページ)



LISTボタン

(E3※ ここだけで ⑥ 27ページ)

T.I/CLOCKボタン

(E3※ 便利な機能 ③ 104ページ、⑤ 105ページ)

VSCボタン

(E3※ 音の調節 ② 86ページ)

RDM/iPodボタン

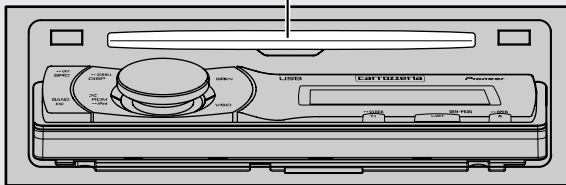
(E3※ ここだけで ⑥ 27ページ)

BAND/ESCボタン

(E3※ ここだけで ⑥ 27ページ)

本体（オープン時）

CD挿入口

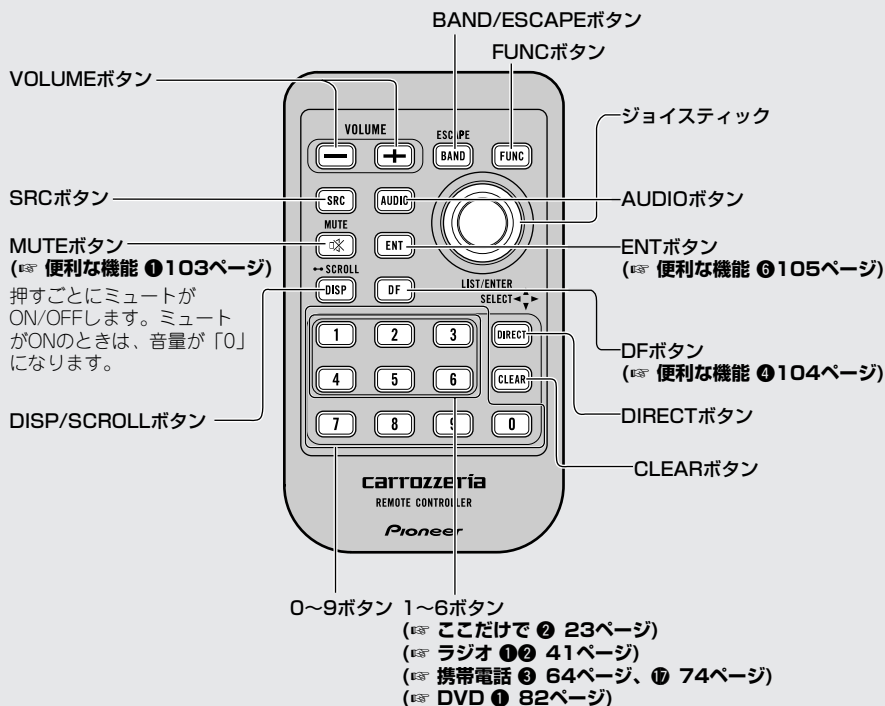


ロータリーコマンドーとは

- 「回す」・「中心を押す」・「上、下、左、右に操作する」の3つの操作を行うことで、本機のさまざまな機能を使うことができます。

リモコン

本体と同じなまえのボタンは、本体のボタンと同じ働きをします。



DIRECT ボタンとは

- 0~9 ボタンを使って、番号を入力して曲を直接選べます。(※ CD 28 ページ、USB 46 ページ) また、本機にBluetooth アダプター (例: 「CD-BTB10」) を接続した場合、電話番号を入力して電話をかけることができます。(※ 携帯電話 64 ページ)
CLEAR ボタンを使って、入力した番号を消去します。



DF ボタンとは

- ソースごとにあらかじめ登録されている機能 (ポーズやBSMなど) を直接操作できます。(※ 便利機能 4 104 ページ)



ジョイスティックとは

- 本体のロータリーコマンドーと同様の操作ができます (ただし、ロータリーコマンドーを回す操作には対応していません)。中心を押した場合は、本体のLIST ボタンと同じ操作になります。



メモ

- BAND/ESCAPE ボタンは、本体のBAND/ESC ボタンと同じ働きをします。

ディスプレイ

ソース表示

ソースインジケータ

聞いているソース名を表示します。

ソース情報表示部1

バンド、ステレオインジケータ、プリセットチャンネル番号（ラジオ）
トラック番号（オーディオCD）
ファイル種類、フォルダ番号、トラック番号（WMA/MP3/AAC/WAV）
ディスク番号、トラック番号（マルチCD）

ソースアイコン

聞いているソースをアイコンで表示します。

BASSインジケータ

バスプースターのレベルを表示します。

S/Wインジケータ

サブウーファーがONのときに点灯します。



ソース情報表示部2

周波数（ラジオ）
再生経過時間（オーディオCD、マルチCD）
ビットレート、再生経過時間（WMA/MP3/AAC）
サンプリング周波数、再生経過時間（WAV）
各種設定内容（ファンクション・オーディオ・初期設定）
などを表示します。

ガイド表示（ファンクション・オーディオ・初期設定）



ガイド表示

現在、有効なロータリーコマンダーの操作が点灯します。

| 表示例 | 内容 |
|---|---|
|  | ロータリーコマンダーの中心を押して操作できます。 |
|  | 上下左右にロータリーコマンダーを押して操作できます。また、ロータリーコマンダーの中心を押しての操作もできます。 |



USB 機器コントロール対応



ご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときにUSB機器のデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

本機は、USB インターフェース付きのポータブルオーディオプレーヤーを操作できます。対応するUSB機器については（[☞ その他 ③ 112ページ](#)）

- 本機は、USB ポータブルオーディオプレーヤーやUSB Mass Storage Class対応のUSBメモリーに収録されているWMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できます。対応する圧縮ファイルについては（[☞ その他 ② 110ページ](#)）

iPod コントロール対応



ご注意

- 本機と組み合わせて使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償についてはご容赦ください。

本機は、iPod を本機のUSB インターフェースに接続して操作できます。

- 本機は以下のiPodに対応しています。本機で確認済みのソフトウェアのバージョンは次のとおりです。これ以前のバージョンについては保証できません。

- 第5世代 iPod : Ver. 1.2.1
- 第1世代 iPod nano : Ver. 1.3.1
- 第2世代 iPod nano : Ver. 1.1.3
- 第3世代 iPod nano : Ver. 1.0.2
- iPod classic : Ver. 1.0.2
- iPod touch : Ver. 1.1.1

- 操作方法は、iPodソフトウェアのバージョンによって異なることがあります。
- iPodを接続するには、iPod用USB変換ケーブル（例：「CD-IU50」）が必要です。

- 先述したモデル以前のiPodは、当社のiPodアダプター（例：「CD-IB10II」）と組み合わせると、本機から操作できます。ただし、iPodはDockコネクタを備えている必要があります。

- iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。



メモ

- iPod接続時のご注意やiPodの設定については（[☞ その他 ④ 114ページ](#)）

WMA について



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって、開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MP3 について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。

詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、インターネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

AAC について

AAC データは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。

本機では、iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルの再生に対応しています。本機は、iTunes で作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルを、AAC ファイルとして再生します。故障の原因となりますので、.m4a 以外の拡張子の付いた AAC ファイルを再生しないでください。

iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」は、CD のタイトル／歌手名／曲名などの文字情報が記録された CD です。「CD TEXT」には基本的に、ディスクタイトル面に次のマークが付いています。ただし、次のマークが付いていない「CD TEXT」もあります。



50 枚型マルチ CD プレーヤーの使用について

本機では、50 枚型マルチ CD プレーヤーの取扱説明書に記載されている 50 枚型マルチ CD プレーヤー特有の機能は操作できません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。また、ディスクリストには切り換わりません。

バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON（または ACC）にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。



ご注意

- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、カレンダー設定、時計、オーディオ調整などの設定内容は消去されてしまいます。ラジオのプリセットメモリーは（※**ラジオ ① 41 ページ**）、カレンダー設定は（※**初期設定 ② 94 ページ**）、時計調整は（※**初期設定 ③ 94 ページ**）を参照して、再設定してください。オーディオ調整の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

はじめに 4 デモモードについて

本機には、リバースモードとフィーチャーデモの2つのデモモードがあります。



ご注意

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、フィーチャーデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。

リバースモードについて

リバースモードは、各ソースを聞いているときに30秒間操作しないと画面が自動的に反転する機能です。反転は、10秒間隔で行われます。

リバースモードを解除したいときは、車のイグニッションスイッチがON（またはACC）のときに本機の電源をOFFにしてBANDボタンを押してください。もう一度押すと、ONになります。

フィーチャーデモについて

フィーチャーデモは、本機が電源OFFのときに、各ソースや本機の機能（ファンクションやエンタテインメントなど）の画面を表示して紹介する機能です。

フィーチャーデモを解除したいときは、フィーチャーデモが表示されているときにDISPボタンを押してください。もう一度押すと、デモが始まります。

車のエンジンを止めた状態でフィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

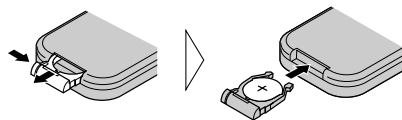
はじめに 5 リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出して、リチウム電池（CR2025）を⊕側を上にしてセットします。

初めてお使いになるときは、電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。



リモコンの取り扱い上のご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本体に直射日光が当たっていると、リモコンを操作できないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- 付属の電池は充電できません。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部に付いた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

本機を初期設定状態に戻すことができます。

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

- 接続が終わったあと。
- 本機が正しく動作しないとき。
- ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセットボタンを押すと、本機の登録内容（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。



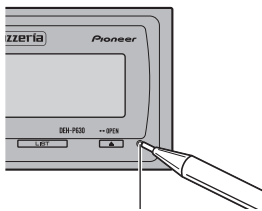
ご注意

- 本機をリセットする前に、フロントパネルを閉めておいてください。（CDを挿入口に差したままにしないでください。）
- フロントパネルを開けたままリセットすると、自動的にフロントパネルが閉じます。

1

本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

フロントパネルの取り外しかた／取り付けかた

盗難抑制のため、フロントパネルを取り外すことができます（デタッチャブル機構）。



フロントパネルの取り扱い上のご注意

- フロントパネルが固定されている場合は、フロントパネル固定ネジを外してから、フロントパネルを取り外してください。
- フロントパネルを無理に引いて取り外さないでください。
- 取り外し、取り付けの際に、ディスプレイやボタンを強く持たないでください。
- 落とす、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障することがあります。
- 分解しないでください。
- ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。
- フロントパネルの端子部分に異物が接触しないようにしてください。故障の原因となります。
- 汚れたときは、きれいな乾いた布でふいてください。その場合、フロントパネルおよび本体の端子部をさわらないようにしてください。接触不良の原因となることがあります。

フロントパネルの取り外しかた

1 フロントパネルを開ける

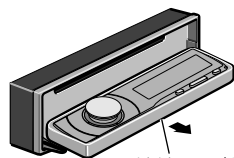
▲ ボタンを長く押す

フロントパネルが開きます。

2 フロントパネルを取り外す

リリース部を持ち、フロントパネルを手前に引く

フロントパネルが外れます。



リリース部

数秒後に中ボタンが自動的に閉まります。このとき、指などを挟み込まないように注意してください。

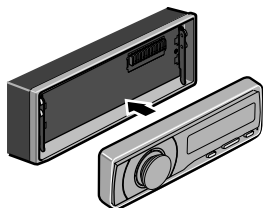
3 フロントパネルを保管する

付属のフロントパネル保護ケース（フェイスパネルケース）にフロントパネルを入れる

フロントパネルの取り付けかた

1 フロントパネルを取り付ける

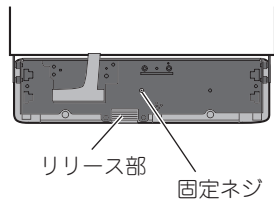
フロントパネルを本体に“カチッ”と音がするまで押し込む



フロントパネルの固定のしかた

1 フロントパネルを固定する

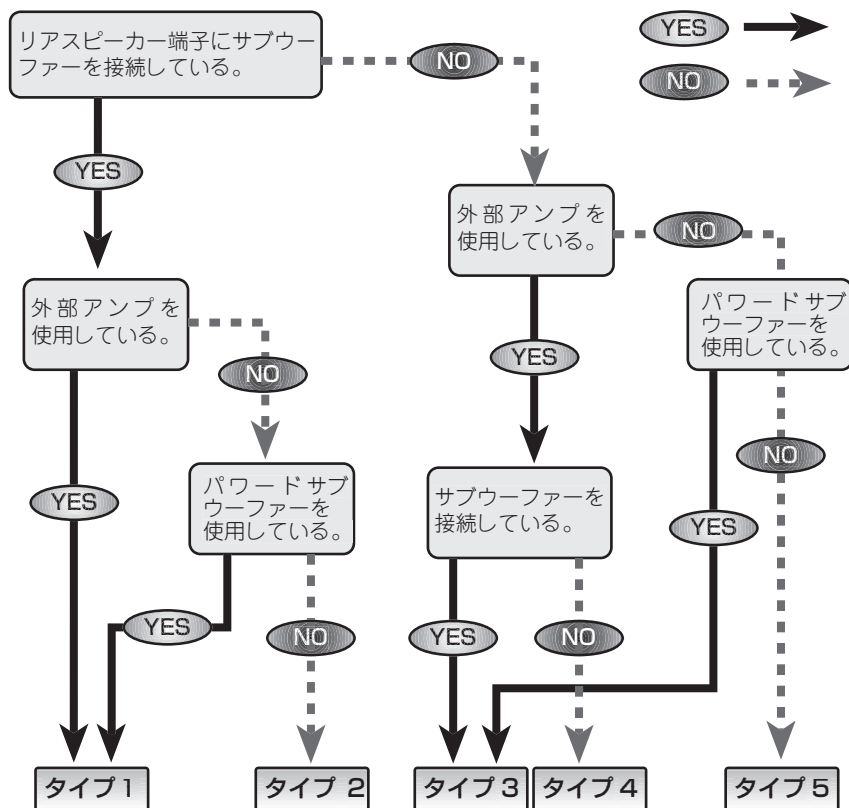
フロントパネルを開けた状態で、固定ネジを使って、フロントパネルを中ブタに取り付ける



サブウーファーの設定について

本機にサブウーファーを組み合わせている場合、本機を使ってサブウーファーの設定ができません。

サブウーファーの接続方法やシステムによって、サブウーファーの設定方法は大きく異なります。次の表に従い、お手持ちのシステムに合わせて、サブウーファーを正しく設定してください。



タイプ 1

- ※入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。
- ※ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターをOFFに設定する。
- ※パワードサブウーファーの場合は、遮断周波数を最高値に設定する。

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を「Rear SP:S/W」にする
(🔍 初期設定 ⑨ 98 ページ)
2. オーディオ調節メニューで、「Sub W.1」をONにする
(🔍 音の調節 ⑨ 90 ページ)
3. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う
(🔍 音の調節 ① 85 ページ)

タイプ 2

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を「Rear SP:S/W」にする
(🔍 初期設定 ⑨ 98 ページ)
2. オーディオ調節メニューで、「Sub W.1」をONにする
(🔍 音の調節 ⑨ 90 ページ)
3. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う
(🔍 音の調節 ① 85 ページ)

タイプ 3

- ※入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。
- ※ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターをOFFに設定する。
- ※パワードサブウーファーの場合は、遮断周波数を最高値に設定する。

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を「Rear SP:F.Range」にする
(🔍 初期設定 ⑨ 98 ページ)
2. 初期設定メニューで、RCA出力設定を「Subwoofer」にする
(🔍 初期設定 ⑩ 98 ページ)
3. オーディオ調節メニューで、「Sub W.1」をONにする
(🔍 音の調節 ⑨ 90 ページ)
4. 微調整が必要な場合は、各メニューで微調整を行う
(🔍 音の調節 ① 85 ページ)

タイプ 4

- ※入力レベルコントロール付きパワーアンプを接続している場合は、入力レベルコントロールを「推奨位置」に設定する。
- ※ローパスフィルター付きパワーアンプの場合は、ローパスフィルターをOFFに設定する。

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を「Rear SP:F.Range」にする
(🔍 初期設定 ⑨ 98 ページ)
2. 初期設定メニューで、RCA出力設定を「Rear」にする
(🔍 初期設定 ⑩ 98 ページ)
3. オーディオ調節メニューで、「Sub W.1」をOFFにする
(🔍 音の調節 ⑨ 90 ページ)

タイプ 5

1. 初期設定メニューで、リアスピーカー出力の設定を「Rear SP:F.Range」にする
(🔍 初期設定 ⑨ 98 ページ)
2. 初期設定メニューで、RCA出力設定を「Rear」にする
(🔍 初期設定 ⑩ 98 ページ)
3. オーディオ調節メニューで、「Sub W.1」をOFFにする
(🔍 音の調節 ⑨ 90 ページ)

ここでだけ

1

基本的な操作

1 電源を ON にする

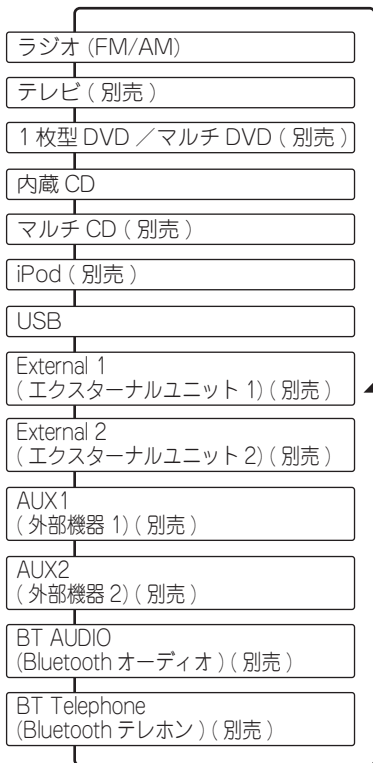
SRC ボタンを押す

本機の電源が ON になります。

2 ソースを切り換える

SRC ボタンを押す

SRC ボタンを押すごとに、次の順序でソースが切り換わります。



3 音量を調節する

ロータリーコマンドを回す

大きくするとき：右に回す

小さくするとき：左に回す

●4秒間、音量が表示されます。

4 電源を切る

SRC ボタンを長く押す

本機の電源が切れます。



ソースとは

- SRC ボタンを押すと切り換わる、内蔵 CD やラジオなどの音源のことです。



External (エクスターナルユニット) とは

- 本機にソースとして認識されないパイオニア製品 (将来発売される製品など) を、エクスターナルユニットと呼びます。本機は、エクスターナルユニットを計2台まで接続してコントロールできます。2台のエクスターナルユニットを接続した場合、それぞれのユニットは External 1、External 2 ソースとして自動的に認識されます。表示は、どちらを選んだ場合も「External」になります。(☞ **便利な機能** ⑧ 107 ページ)

テレビ、1 枚型 DVD、マルチ DVD を接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書もご覧ください。

テレビ (例: 「AVX-P7」) や 1 枚型 DVD (例: 「SDV-P7」)、マルチ DVD (例: 「XDV-P70」) などの取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作を説明している場合があります。その製品と対応しているボタンで操作します。

ここだけ読めば
すぐ使えます



知っている则便利

- リモコンの VOLUME ボタンを押して音量を調節することもできます。



メモ

- 接続していないソースには切り換わりません。
- 音量の調整範囲は 0~62 です。
- ディスクを CD 挿入口に差し込んだときも、電源が ON になります。
- ディスクがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- AUX (外部機器) の設定 (☞ **初期設定** ⑥ 96 ページ) を ON にしないと、AUX1 / AUX2 には切り換わりません。
- AUX1 は初期設定では ON に設定されています。使用しない場合は OFF に設定してください。(☞ **初期設定** ⑥ 96 ページ)
- 本機の青リード線 (アンテナコントロール) に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- CD をセットしたまま電源を OFF にすることもできます。
- 電源が OFF のときでも、EJECT ボタンを押して CD を取り出すことができます。
- 時計を表示させている場合、電源を OFF にしてもカレンダー、時計は表示されます。

ここだけで **CDのふだんの操作**

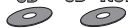
2

画面例

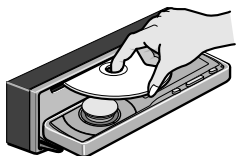


1 CDを再生する

CD CD-ROM



▲ ボタンを押して、フロントパネルを開き、CDをCD挿入口に差し込む



自動的にフロントパネルが閉まり、CDの再生が始まります。

M-CD



ソースがマルチCDになるまで、SRCボタンを押す

2 フォルダー（ディスク）を選ぶ

CD-ROM M-CD



ロータリーコマンドを上下に操作する

次のフォルダー（ディスク）を選ぶ：
上に操作する

前のフォルダー（ディスク）を選ぶ：
下に操作する

3 曲を選ぶ（または早送り／早戻しする）

CD CD-ROM M-CD



ロータリーコマンドを左右に操作する

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ：右に操作する
前の曲を選ぶ：左に操作する

■ 早送り／早戻しをするとき

早送り：右に操作し続ける
早戻し：左に操作し続ける

4 他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

CD CD-ROM M-CD



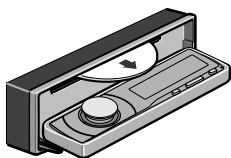
再生が終わります

5 CDを取り出す



▲ ボタンを押す

CDが出てきて、自動的に電源OFFになります。



CDを取り出して、▲ ボタンを押す

フロントパネルが閉まります。

👉 ご注意

- ディスクはタイトル面を上にして差し込みます。
- CD挿入口には、CD以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- CDシングル(8 cm CD)もアダプターなしで再生できます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- 出てきたディスクはすぐに取り出して保管してください。CD挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。



知っている则便利

- ソースがマルチCDの場合、リモコンの1～6ボタンを押して、聞きたいCDを選ぶこともできます。7～12枚目のCDを選ぶ場合は、1～6ボタンを長く押しします。
- WMA／MP3／AAC／WAV再生時は、BANDボタンを長く押しすと、フォルダー01 (ROOT)に戻ります。ただし、フォルダー01 (ROOT)にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。
- ディスクをセットしたまま、電源をOFFにしたり他のソースに切り換えることができます。
- WMA／MP3／AAC／WAVファイルと音楽データが混在しているディスクの場合、切り換えて再生できます。切り換えるときは、BANDボタンを押します。再生は、それぞれ一番先頭の曲から始まります。



メモ

- 「CD TEXT」や「CD-ROM」など、文字情報が記録されたディスクでは、ディスクタイトル、曲名などを表示できます(※ CD 438 ページ)。表示を切り換えている場合は、ディスクを挿入したときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、タイトルを自動的にスクロール表示します。「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)に「CD TEXT」をセットしているときも、ソースをマルチCDに切り換えると、タイトルを自動的にスクロール表示します。
- WMA／MP3／AAC／WAVファイルを早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。
- VBR(可変ビットレート)で録音されたWMA／MP3／AAC／WAVファイルを早送り／早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- ディスクを挿入すると、本機はディスクからファイル形式などの情報を読みとります。この間、画面には「Format read」と表示されます。
- マルチCDが準備動作(CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど)をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると、「Ready」と表示されます。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、「No Magazine」と表示されます。

ここだけで **3** ラジオのふだんの操作

バンドを選ぶ/選局

画面例



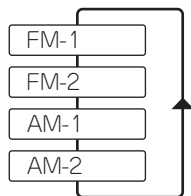
1 ソースをラジオにする

ソースがラジオになるまで SRC ボタンを押す

2 バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

BAND ボタンを押すごとに、次の順序でバンドが切り換わります



3 放送局を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する

■ 手動で選ぶとき (手動選局)

高い周波数の放送局を選ぶ：
右に操作する

低い周波数の放送局を選ぶ：
左に操作する

■ 自動で選ぶとき (自動選局)

高い周波数の放送局を自動で選ぶ：
右に長く操作して離す

低い周波数の放送局を自動で選ぶ：
左に長く操作して離す

4 他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

ラジオの受信が終わります



知っていると便利

- バンドごとに放送局を6局ずつ登録できます。
- ロータリーコマンドを左右に操作している間、途中の放送局を飛ばすことができます。離れたところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。

画面例



1 USB 機器の曲を再生する

USB 機器を接続する

再生が始まります

2 フォルダーを選ぶ

ロータリーコマンドを上下に操作する

次のフォルダーを選ぶ：上に操作する
前のフォルダーを選ぶ：下に操作する

3 曲を選ぶ（または早送り／早戻しする）

ロータリーコマンドを左右に操作する

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ：右に操作する
前の曲を選ぶ：左に操作する

■ 早送り／早戻しをするとき

早送り：右に操作し続ける
早戻し：左に操作し続ける

4 他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

USBの再生が終わります



ご注意

- 対応するUSB機器をご使用ください。ただし、対応するUSB機器でも正しく動作しない場合があります。(※ **その他** ⑩ 112ページ)
- 本機は、USBポータブルオーディオプレーヤー／USBメモリーが接続されると、USBソースに自動で切り換わります。これらの機器を使用しないときは、本機から取り外してください。接続する機器によっては、接続したままエンジンをONにした場合、意図せずにUSBソースに自動で切り換わってしまうことがあります。



知っているると便利

- USB機器を接続したまま、電源をOFFにした後、他のソースに切り換えることができます。
- USB機器は、いつでも本機から取り外すことができます。
- BANDボタンを長く押し続けると、フォルダー01 (ROOT)に戻ります。ただし、フォルダー01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。



メモ

- USB機器にバッテリー充電機能がある場合、エンジンスイッチがACCまたはONになっているときにUSB機器のバッテリーが充電されます。
- USBソースでは、接続したUSB機器の情報を読みとる間、「Format read」と表示されます。USB機器の情報を読みとるため、再生までに時間がかかります。

すぐ使えます
いつでも読めます

ここだけで iPod のふだんの操作

5

iPod の曲を再生する / 曲を選ぶ / 早送り・早戻し

iPod Dock コネクタ (USB 2.0 ケーブル用) を使用して iPod を本機に接続すると、iPod を本機から『USB』ソースとして操作できます。対応している iPod について詳しくは (※ はじめに ③ 12 ページ)



メモ

- iPod アダプター (例: 「CD-IB10II」) と組み合わせて iPod を接続している場合は、『iPod』ソースになります。

画面例



1

iPod の曲を再生する

■ USB で接続するとき

iPod を接続すると再生が始まります

■ iPod アダプターで接続するとき

iPod を接続して、ソースが iPod になるまで SRC ボタンを押す

2

曲を選ぶ (または早送り／早戻しする)

ロータリーコマンドを左右に操作する

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ: 右に操作する

前の曲を選ぶ: 左に操作する

■ 早送り／早戻しをするとき

早送り: 右に操作し続ける

早戻し: 左に操作し続ける

3

他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

iPod の再生が終わります



ご注意

- 『iPod』ソースでは、Podcast やオーディオブックに関する機能は操作できません。
- 再生範囲が 1 曲リピートのときは、ロータリーコマンドを左右に操作して曲を選ぶことはできません。
- iPod には iPod 用 USB 変換ケーブルのみを接続してください。iPod 用 USB 変換ケーブル以外のものを接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。
- iPod を本機に接続する前に、iPod からヘッドホンを外してください。



メモ

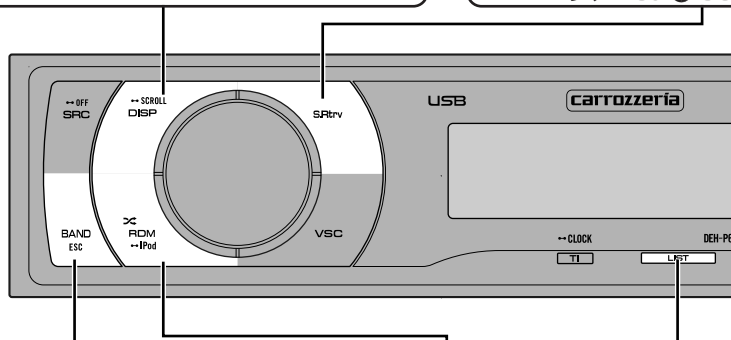
- 再生しているオーディオブックや Podcast にチャプターがある場合、ロータリーコマンドを左右に操作して、チャプターが選べます。
 - ・ 次のチャプターを選ぶ: 右に操作する
 - ・ 前のチャプターを選ぶ: 左に操作する
- エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、iPod のバッテリーが充電されます。
- iPod は本機に接続されている間、iPod 自身で電源を ON / OFF することはできません。
- エンジンスイッチを OFF にして約 2 分後に、本機に接続されている iPod の電源も OFF になります。
- iPod 接続時のご注意や iPod の設定については (※ その他 ④ 114 ページ)

DISP/SCROLL ボタン

- 押すごとに、ディスプレイの表示を切り換えます。
- 長く押すことで、ディスプレイのタイトル表示をスクロールします。

S.Rtrv ボタン

- 内蔵CD、USB、USB (iPod接続) ソース時に押すと、サウンドレトリバーの設定を切り換えます。
(**CD** ⑧ 34 ページ、**USB** ⑦ 50 ページ、**iPod** ⑫ 59 ページ)



BAND/ESC ボタン

- ファンクションメニュー、オーディオメニュー、初期設定メニューの表示中に押すと、ふだんの再生画面に戻ります。
- ラジオ、テレビソース時に押すと、バンドを切り換えます。

RDM/⌘/iPod ボタン

- 内蔵CD、マルチCD、USB、DVDソース時に押すと、「ランダムプレイ」のON/OFFを切り換えます。
(**CD** ④ 31 ページ、**USB** ④ 48 ページ、**DVD** ② 83 ページ)
- USB (iPod接続) ソース時に押すと、「シャッフルオール設定」がONになります。(**iPod** ⑦ 56 ページ)
- USB (iPod接続) ソース時に長く押すと、「操作設定」の設定を切り換えます。(**iPod** ⑨ 57 ページ)
- iPodソース時に押すと、「シャッフル設定」の設定を切り換えます。
(**iPod** ⑥ 55 ページ)

LIST ボタン

- ラジオ、テレビソース時に押すと、チャンネルリストを表示します。
(**ラジオ** ⑤ 44 ページ、**テレビ** ③ 81 ページ)
- 内蔵CD、マルチCD、USBソース時に押すと、トラック、ディスク、フォルダー/ファイルリストを表示します。
(**CD** ⑮ ⑯ ⑰ 39、40 ページ、**USB** ⑨ 51 ページ)
- iPodソース時に押すと、ブラウズモードになります。
(**iPod** ⑫ 52 ページ)
- USB (iPod接続) ソース時に長く押すと、再生中のアーティストのアルバムリストを表示します。
(**iPod** ⑧ 56 ページ)
- BT Telephoneソース時に押すと、電話帳、不在着信/発信/着信の履歴リスト表示を切り換えます。
(**携帯電話** ⑮ 72 ページ)



メモ

- リスト表示中にLISTボタンを押すと、ふだんの再生画面に戻ります。ただし、USB (iPod接続) ソース時に押すと、アルファベットサーチモードになります。(**iPod** ③ 53 ページ)

CD
1

曲を直接選ぶ

ダイレクトサーチ

聞きたい曲を直接選べます。

1 リモコンのDIRECT ボタンを押す

曲番号入力画面が表示されます

2 聞きたい曲の番号を入力する

リモコンの0～9 ボタンを押す

- リモコンのCLEAR ボタンを押すと、入力した番号を消去できます。

3 リモコンのDIRECT ボタンを押す

選んだ曲が再生されます



メモ

- WMA / MP3 / AAC / WAV 再生時は、再生しているフォルダー内の曲（ファイル）だけ選べます。
- 曲番号入力画面は、8秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

CD
2

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンダーを押す

メインメニューが表示されます

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンダーを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンダーを押す

3 ローターコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります



CDを聞く



知っている则便利

- リモコンのFUNCボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESCボタンを押します。「タイトル入力」や「ITS登録」を選んでいるとき以外は、30秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。



ご注意

- WMA / MP3 / AAC / WAVファイルを再生しているときは、「タイトル入力」は選べません。
- 「CD TEXT」には、タイトルを入力できません。「CD TEXT」を再生しているときは、「タイトル入力」は選べません。

繰り返し再生する

リピート

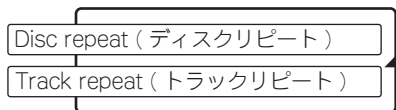
曲を繰り返し（リピート）再生できます。繰り返しの範囲は、今聞いている曲やディスク全体などから選べます。選べる範囲は、ソースやディスクによって異なります。

1 再生範囲切換にする

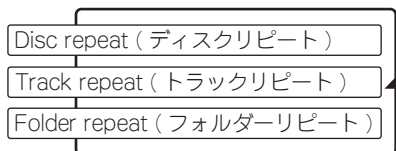
ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります



CD-ROM



M-CD



ディスクリピート：

今聞いているディスクを繰り返し再生します。

トラックリピート：

今聞いている曲を繰り返し再生します。

フォルダーリピート：

今聞いているフォルダーを繰り返し再生します。

マルチ CD リピート：

マルチ CD にセットされているすべてのディスクを繰り返し再生します。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 選んだ再生範囲は、次の機能の再生範囲に影響しません。
「ランダムプレイ設定」「スキャンプレイ設定」「ITS 再生設定」
- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲（WMA/MP3/AAC/WAV）だけを再生します。サブフォルダー内の曲は、再生しません。

曲やCDを順不同(ランダム)に再生できません。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ランダム再生する範囲を選んでおく

ランダムプレイは、再生範囲切換で選んだ範囲で行われます(※ CD ③)

2 ランダムプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

3 ロータリーコマンドーを押す

ランダムプレイ設定がONになります

次の曲から、ランダムに再生されます。もう一度押すと、OFFになります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってランダムプレイが行われます。
CD/マルチCD : ディスクリピート
WMA/MP3/AAC/WAV : フォルダーリピート



知っていると便利

- ランダムプレイ設定のON/OFFの切り換えは、RDMボタンでも操作できます。(※ ここだけで ⑥ 27ページ)

曲やフォルダー、ディスクのはじめの部分だけを、約10秒ずつ再生できます(スキャン再生)。聞きたい曲やフォルダー、ディスクをさがすときに便利です。

1 スキャン再生する範囲を選んでおく

スキャンプレイは、再生範囲切換で選んだ範囲で行われます(※ CD ④)

■ 聞きたい曲をさがすとき (トラックスキャン再生)

選んだ再生範囲内のすべての曲を、約10秒ずつ再生します。

- CD再生時は、ディスクリピートに切り換えます。
- WMA/MP3/AAC/WAV再生時は、フォルダーリピートに切り換えます。

■ 聞きたいフォルダーをさがすとき (フォルダースキャン再生)

再生中のディスクの全フォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。

- WMA/MP3/AAC/WAV再生時に、ディスクリピートに切り換えます。

■ 聞きたいディスクをさがすとき (ディスクスキャン再生)

マルチCD内のすべてのディスクの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。

- ソースがマルチCDのときに、マルチCDリピートに切り換えます。

2 スキャンプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

次のページへ続く

<つづき>

スキャン

3 ロータリーコマンドを押す

スキャンプレイ設定がONになります

曲やフォルダー、ディスクのはじめの約10秒間が次々に再生されます。

- スキャンプレイを始めて30秒たつと、ふだんの再生画面に自動で戻ります。

4 聞きたい曲やフォルダー、ディスクが再生されたら、ロータリーコマンドを押す

スキャンプレイ設定がOFFになります

- ふだんの再生画面に戻っていたら、まず手順2の操作でスキャンプレイ設定を選びます。次に、ロータリーコマンドを押すと、スキャンプレイ設定がOFFになります。

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- スキャンプレイを始めた曲（フォルダー／ディスク）まで戻ると、スキャンプレイは解除されます。
- 再生範囲がトラックリピートのときにスキャンプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってスキャンプレイが行われます。
CD／マルチCD：
ディスクリピート
WMA／MP3／AAC／WAV：
フォルダーリピート

CD
6

再生を一時停止する

ポーズ

曲の再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドを押す

再生を一時停止します

もう一度押すと、OFFになります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

マルチCD（別売）の機能です。

再生しているCDの音質に簡単な補正をかけ、より聞きやすい音に調節できます。

COMPとDBEの2つの機能を使って、CDの音質を手軽に調節できます。



ご注意

- COMP（DBE）機能のないマルチCDを組み合わせたときは、「No COMP」が表示され、操作できません。



COMPとは

- COMPは、「Compression（コンプレッション）」の略です。大きな音と小さな音の音量差（ダイナミックレンジ）を小さくします。



DBEとは

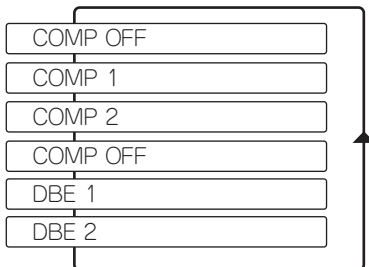
- DBEは、「Dynamic Bass Emphasis（ダイナミック バス エンファシス）」の略です。車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 コンプレッション設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で設定が切り換わります



3

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- COMP、DBEは1より2の方が効果が大きくなります。

CD
8

音声を高音質化する

サウンドレトリバー

音の密度感や抑揚感を向上させて再生できます。



サウンドレトリバーとは

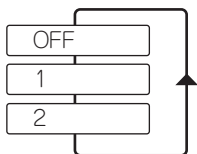
- 圧縮音声は圧縮処理される際に、人が感じ取りにくい部分の音声削除されてしまいます。サウンドレトリバー機能では、削除された部分の音声を補うことによって、音の密度感や抑揚感を向上させて再生します。

1 サウンドレトリバー設定にする

ロータリーコマンダーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンダーを押す

ロータリーコマンダーを押すごとに、次の順序で設定が切り換わります



3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- サウンドレトリバーの効果は、1 より2の方が大きくなります。



知っている则便利

- サウンドレトリバー設定の切り換えは、S.Rtv ボタンでも操作できます。(※ ここだけで ⑥ 27ページ)

CD
9

聞きたい曲を指定する

マルチCD (別売) の機能です。

聞きたい曲だけを再生するために、再生する曲をあらかじめ指定しておきます。



ITSとは

- ITSは、「Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション)」の略です。指定した曲だけを再生できます。ITSの指定は、ITS解除を行うまで有効です (※ CD ⑩ ⑪ ⑫ 36ページ)。

1 ロータリーコマンダーを上下に操作する

指定したい曲の入ったCDを再生する

2 ITS登録にする

ロータリーコマンダーを操作して選ぶ

3 ロータリーコマンダーを左右に操作する

指定したい曲を選ぶ

4 ロータリーコマンダーを上

選択した曲が指定されます

「Memory complete」が2秒間表示され、指定が完了したことを知らせます。

複数の曲を指定するときは、手順3~4の操作を繰り返して曲を指定してください。

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 曲の指定はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、曲の指定は解除されません。
- CD1枚につき、99曲まで指定できます。(「CDX-P1250」、「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDプレーヤーでは、指定できる曲は24曲目までになります。)
- ITSは、タイトル入力 (☞ CD ⑩ 37ページ) と合わせて、CD100枚分の指定ができます。
- 100枚を超えたときは、一番古い指定内容が解除されて、新しいCDの曲が指定されます。

マルチCD (別売) の機能です。

ITS指定 (☞ CD ⑨) で指定した曲だけを再生できます。

1 ITS再生する範囲を選んでおく

ITS再生は、再生範囲切換で選んだ範囲で行われます (☞ CD ③ 30ページ)

2 ITSプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

3 ロータリーコマンドーを押す

ITS再生がONになります
もう一度押すと、OFFになります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 手順1で選んだ再生範囲に、指定した曲がない場合は、「ITS empty」が2秒間表示され、ITS再生は始まりません。

CD
11

曲の指定を1曲ずつ解除する

ITS解除

マルチCD（別売）の機能です。

ITS指定（ CD ⑨ 34ページ）で指定した曲を1曲ずつ解除できます。

1 ITS再生をONにする

( CD ⑩ 35ページ)

2 ロータリーコマンダーを左右に操作する

指定を解除したい曲を再生する

3 ITS登録にする

ロータリーコマンダーを操作して選ぶ

4 ロータリーコマンダーを下に操作する

再生していた曲の指定が解除され、次に指定されている曲が再生されます

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 現在の再生範囲に、ITS指定された曲がなくなった場合は、「Memory deleted」が2秒間表示され、ITS再生がOFFになります。

CD
12

曲の指定をCDごとに解除する

ITS解除

マルチCD（別売）の機能です。

ITS指定（ CD ⑨ 34ページ）で指定した曲をCDごとに解除できます。

1 ITS再生をOFFにする

( CD ⑩ 35ページ)

2 ロータリーコマンダーを上下に操作する

指定を解除したいCDを再生する

3 ITS登録にする

ロータリーコマンダーを操作して選ぶ

4 ロータリーコマンダーを下に操作する

再生していたCDの曲の指定が解除されます

「Memory deleted」が2秒間表示され、指定が解除されたことを知らせます。

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

CDのタイトルを入力して、本機に登録できます。登録したタイトルは、本機のディスプレイに表示できます。



ご注意

- 「CD TEXT」(※ はじめに ③ 13 ページ)を再生しているときや、タイトル入力機能のないマルチCDを組み合わせたときは、操作できません。

1 タイトル入力したいCDを再生します

2 タイトル入力にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

3 DISP ボタンを押す

DISP ボタンを押すごとに、次の順序で文字の種類が切り換わります

アルファベットの大文字・数字・記号 (!, #, & など)・空白 ()

アルファベットの小文字・空白 ()

数字・記号 (!, #, & など)・空白 ()

カタカナ・音引き (ー)・空白 ()

拗促音 (ア、ヨ、ツなど)・濁点・半濁点・空白 ()

4 ロータリーコマンドーを上下左右に操作する

■ 入力したい文字を選ぶとき

次の文字を選ぶ：上に操作する

前の文字を選ぶ：下に操作する

■ 入力したい位置にカーソルを移動するとき

右に移動する：右に操作する

左に移動する：左に操作する

5 ロータリーコマンドーを右に操作する

10文字目を点滅させる

6 10文字目が点滅しているときに、ロータリーコマンドーを右に操作する

入力したタイトルが登録されます

入力位置の点滅が終わると、入力したタイトルが登録されます。

7 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

- タイトル入力中（文字が点滅しているとき）にBAND/ESCボタンを押すと、タイトル入力画面が解除されて、ふだんの再生画面に戻ります。（入力中のタイトルは登録されません。）



メモ

- タイトルは、10文字まで入力できます。
- 内蔵CDには、CD48枚分のタイトルを登録できます。
- マルチCDには、ITS (※ CD ⑨ 34 ページ)と合わせて、CD100枚分のタイトルを登録できます。
- 48枚（マルチCD接続時は、100枚）を超えたときは、一番古いCDのタイトルが消されて、新しいCDのタイトルが登録されます。
- CDを取り出しても、登録したタイトルは削除されません。

タイトルやアーティスト名を表示させる

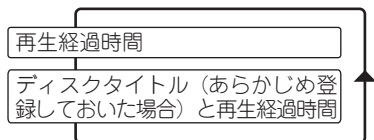
タイトル表示

トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示させることができます。また、隠れている文字をスクロール表示させることもできます。

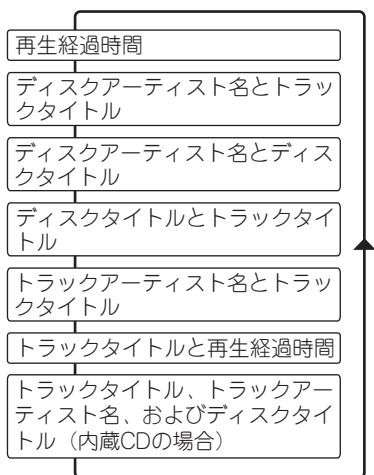
1 DISP ボタンを押す

DISP ボタンを押すごとに、次の順序で切り換わります

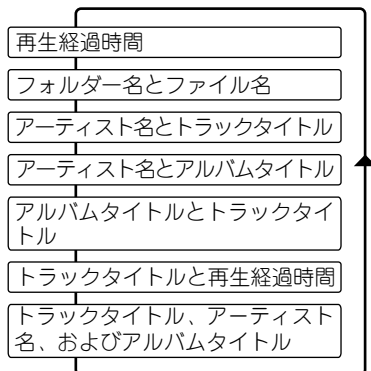
CD M-CD (CD-DA 再生時)



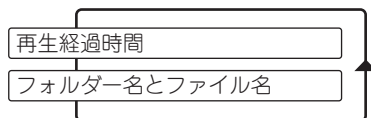
CD M-CD (「CD TEXT」再生時)



CD-ROM (WMA/MP3/AAC再生時)



CD-ROM (WAV再生時)



✎ 知っている则便利

- 隠れている文字を表示させるには、DISP ボタンを長く押しします。

✎ メモ

- 本機の文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、タイトル表示は空白になります。
- WMA ファイルをエンコードした Windows Media Player のバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3 ファイルや AAC ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。

CD
15

タイトルを見て聞きたいCDをさがす

ディスクリスト

マルチCD（別売）の機能です。

CDのタイトル一覧（ディスクリスト）を見ながら、聞きたいCDを選べます。

1 LIST ボタンを押す

ディスクリストが表示されます

2 ロータリーコマンドーを回す


ロータリーコマンドーを回すごとにCDのタイトルが切り換わります

次のCDを選ぶとき：右に回す

前のCDを選ぶとき：左に回す

3 聞きたいCDが中央に表示されているときに、ロータリーコマンドーを押す

選んだCDが再生されます

「CD TEXT」を選んだ場合、ロータリーコマンドーを右に操作すると、トラックリスト（ CD 16）を表示できます。

知っていると便利

- ロータリーコマンドーを上下に操作して、聞きたいCDを選ぶこともできます。

メモ

- 再生中のCDは反転表示されます。
- マガジンにCDがセットされていないときは、「No Disc」と表示されます。また、タイトルが入力されていないCDでは、「No Title」と表示されます。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。（30 秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。）

CD
16


曲名を見て聞きたい曲をさがす

トラックリスト

「CD TEXT」再生中に、曲名の一覧（トラックリスト）を見ながら、聞きたい曲を選べます。

1 LIST ボタンを押す

トラックリストが表示されます

- マルチCDの場合、ディスクリスト（ CD 16）が表示されます。ディスクリストの手順1～3を行って、「CD TEXT」のトラックリストを表示します。

2 ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに曲名が切り換わります

次の曲を選ぶとき：右に回す

前の曲を選ぶとき：左に回す

3 聞きたい曲が中央に表示されているときに、ロータリーコマンドーを押す

選んだ曲が再生されます

知っていると便利

- ロータリーコマンドーを上下に操作して、聞きたい曲を選ぶこともできます。

メモ

- 再生中の曲は反転表示されます。
- 「CD TEXT」に、曲名が収録されていないときは、「No Title」が表示されます。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。（30 秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。）

WMA／MP3／AAC／WAV再生中に、ファイル名やフォルダー名の一覧（フォルダー／ファイルリスト）を見ながら、聞きたいファイルやフォルダーを選べます。

1 LIST ボタンを押す

フォルダー／ファイルリストが表示されます

2 ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとにフォルダー名やファイル名が切り換わります

次のフォルダー（ファイル）を選ぶとき：
右に回す

前のフォルダー（ファイル）を選ぶとき：
左に回す



選んでいるフォルダーの中に収録されているフォルダーや曲（ファイル）の数を表示します。

3 聞きたいファイルが入っているフォルダーが中央に表示されているときに、ロータリーコマンドを右に操作する

選んだフォルダーに収録されているフォルダーやファイルのリストが表示されます

4 聞きたいファイルが中央に表示されているときに、ロータリーコマンドを押す

選んだファイルが再生されます



知っている则便利

- ロータリーコマンドを上下に操作して、聞きたいファイル名やフォルダー名を選ぶこともできます。
- ロータリーコマンドを左に操作すると、1つ前のリスト（1つ上の階層）に戻ります。
- フォルダーを中央に表示しているときにロータリーコマンドを長く押しすと、そのリスト内の曲を最初からすべて再生できます。ロータリーコマンドを右に長く操作することでも可能です。
- ロータリーコマンドを右に操作して、中央に表示しているリストを選ぶこともできます。
- 最上位の階層に戻るには、ロータリーコマンドを左に長く操作します。



メモ

- 再生中のファイルやフォルダーは反転表示されます。
- フォルダー／ファイルリストは、必ず「ROOT」から表示されます。
- ディスク内に再生できるファイルがない場合、「No Audio」が表示されます。
- フォルダー内に再生できるファイルがない場合、ロータリーコマンドを長く押ししても再生しません。
- リスト表示中のフォルダー番号は、実際の番号とは異なります。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESCボタンを押します。（30秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。）
- 収録ファイル数が多く、リスト番号が3桁になる場合は、下2桁だけが表示されます。

放送局を1局ずつ登録する

プリセットメモリー

よく聞く放送局を1局ずつ手動で登録できます（プリセットメモリー）。登録した放送局は、手軽に受信できます。

1 BAND ボタンを押す

登録するバンドを選ぶ

2 ロータリーコマンドを左右に操作する

登録したい放送局を選ぶ

3 リモコンの1～6ボタンの1つを長く押す

放送局が登録されます

登録動作中に押したボタンの番号（登録番号）が点滅します。

登録が完了すると登録番号の点滅が終わり、その放送局を受信します。

登録した放送局を呼び出す

プリセットチューニング

BSMやプリセットメモリーで登録した放送局を、手軽に受信できます。

1 BAND ボタンを押す

放送局を登録したバンドを選ぶ

2 登録した放送局を受信する

■ プリセット番号を指定して受信するとき

リモコンの1～6ボタンの1つを押す

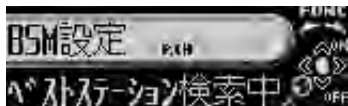
■ プリセット番号順に受信するとき

ロータリーコマンドを上下に操作する

ファンクションメニューの切り換えかた

「複数の放送局を自動的に登録する」「放送局名を選ぶ」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンドーを押す

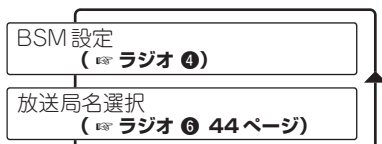
メインメニューが表示されます

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドーを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドーを押す

3 ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります



知っていると便利

- リモコンのFUNCボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

メモ

- ふだんの受信画面に戻るときは、BAND/ESCボタンを押します。(30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に戻ります。)

受信状態の良い放送局を自動で探して登録できます。登録された放送局は、手軽に受信できます。



BSMとは

- BSMは、「Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)」の略です。

1 BAND ボタンを押す

登録するバンドを選ぶ

2 BSM 設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ
(ラジオ ③)

3 ロータリーコマンドーを押す

BSMによる登録が始まります

登録が完了するとステーションリストに切り換わり、1の番号に登録された放送局を受信します。



メモ

- 登録動作中にロータリーコマンドーを押すと、BSMの登録処理を途中でやめることができます。

4 ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに放送局が切り換わります

次の放送局を選ぶとき：右に回す

前の放送局を選ぶとき：左に回す

5

聞きたい放送局が中央に表示されているときに、ロータリーコマンドーを押す

選んだ放送局が受信されます



メモ

- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。(30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)



知っていると便利

- バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を登録できます。たとえば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を登録しておきます。旅行先などで、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと便利です。バンド1に登録した放送局を消さずに、バンド2でその地域の放送局を受信できます。

ラジオ
5

放送局名を見て聞きたい放送局を呼び出す

ステーションリスト

1～6の番号に登録した放送局を、放送局名の一覧（ステーションリスト）の中からさがすことができます。

1 BAND ボタンを押す

バンドを選ぶ

2 LIST ボタンを押す

ステーションリストが表示されます

3 ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに放送局名が切り換わります

次の放送局を選ぶとき：右に回す

前の放送局を選ぶとき：左に回す

4 聞きたい放送局が中央に表示されているときに、ロータリーコマンドを押す

選んだ放送局が受信されます



知っているとお便利

- ロータリーコマンドを長く押しと、中央に表示されている登録番号に、現在受信している放送局を登録することができます。



メモ

- 受信中の放送局名は反転表示されます。
- 表示されている放送局名が受信している放送局と異なる場合、放送局名を変更することができます。（※ ラジオ ⑥）
- 放送局名が登録されていない放送局の場合、周波数が表示されます。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。（30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。）

ラジオ
6

放送局名を選ぶ

放送局名選択

受信している放送局の放送局名を選べます。表示されている放送局名が、受信している放送局の名称と異なる場合、正しい放送局名に変更することができます。



ご注意

- 本機に登録されていない放送局名は選べません。

1 実際の放送局名と表示が異なる場合、放送局名選択にする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ
（※ ラジオ ③ 42 ページ）

2 ロータリーコマンドを左右に操作する

放送局名を選ぶ

次の放送局名を選ぶとき：右に操作する

前の放送局名を選ぶとき：左に操作する

3 ロータリーコマンドを押す

選んだ放送局名に変更されます

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの受信画面に戻ります



知っているとお便利

- 放送局名を表示させたくないときは、すべて空白の表示を選びます。
- パイオニア製のFM モジュレータータイプのマルチCD をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせて、放送局名を「FM M-CD」に変更できます。
- パイオニア製のTV をFM モジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせて、放送局名を「TVsound」に変更できます。



メモ

- 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていない場合、「No data」と表示されます。

放送局名を表示する

放送局名表示

受信している放送局の放送局名を表示できます。

1

DISP ボタンを押す

放送局名が表示されます

もう一度押すと放送局名表示が消えます。



知っていると便利

- 表示されている放送局名が、受信している放送局の名称と異なる場合、正しい放送局名に変更できます。(※ ラジオ 6)

USB
1

曲を直接選ぶ

ダイレクトサーチ

今聞いているフォルダー内で聞きたい曲を直接選べます。

1 リモコンのDIRECT ボタンを押す

曲番号入力画面が表示されます

2 聞きたい曲の番号を入力する

リモコンの0～9 ボタンを押す

- リモコンのCLEAR ボタンを押すと、入力した番号を消去できます。

3 リモコンのDIRECT ボタンを押す

選んだ曲が再生されます



メモ

- 曲番号入力画面は、8秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

USB
2

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンドを押す

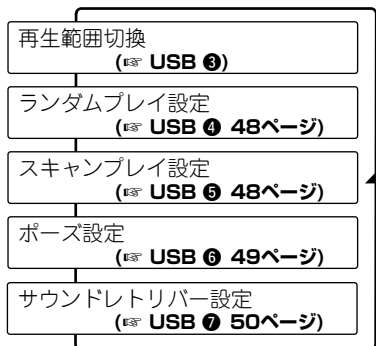
メインメニューが表示されます

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります



**知っている则便利**

- リモコンのFUNCボタンを押して、機能を選ぶこともできます。

**メモ**

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESCボタンを押します。(30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に戻ります。)

1

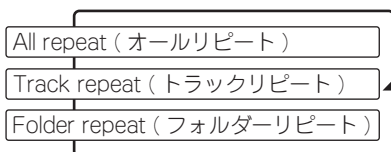
再生範囲切換にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります

**オールリピート：**

すべての曲を繰り返し再生します。

フォルダーリピート：

今聞いているフォルダーを繰り返し再生します。

トラックリピート：

今聞いている曲を繰り返し再生します。

3

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

**メモ**

- 選んだ再生範囲は、次の機能の再生範囲に影響します。
「ランダムプレイ設定」「スキャンプレイ設定」
- フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲(WMA/MP3/AAC/WAV)だけを再生します。サブフォルダー内の曲は、再生しません。

USB
4

違う曲順で再生する

ランダム

曲を順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ランダム再生する範囲を選んでおく

ランダムプレイは、再生範囲切換で選んだ範囲で行われます

(USB ④ 47ページ)

2 ランダムプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

3 ロータリーコマンドーを押す

ランダムプレイ設定がONになります

次の曲から、ランダムに再生されます。

もう一度押すと、OFFになります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 再生範囲がトラックリピートのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わってランダムプレイが行われます。



知っていると便利

- ランダムプレイ設定のON/OFFの切り換えは、RDMボタンでも操作できます。(ここだけで ⑥ 27ページ)

USB
5

曲をさがす

曲のはじめの部分だけを、約10秒ずつ再生できます（スキャン再生）。聞きたい曲をさがすときに便利です。

1 スキャン再生する範囲を選んでおく

スキャンプレイは、再生範囲切換で選んだ範囲で行われます (USB ③ 47ページ)

■ 聞いているフォルダー内で聞きたい曲をさがすとき

再生中のフォルダーのすべての曲を、約10秒ずつ再生します。

- 再生範囲をフォルダーリピートに切り換えます。

■ 聞きたいフォルダーをさがすとき

再生中のUSB機器に収録されている、全フォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生します。

- 再生範囲をオールリピートに切り換えます。

2 スキャンプレイ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

曲の再生を一時停止できます。

3 ロータリーコマンドーを押す

スキャンプレイ設定がONになります
曲のはじめの約10秒間が徐々に再生されます。



メモ

- スキャンプレイを始めて30秒たつと、ふだんの再生画面に自動的に戻ります。

4 聞きたい曲が再生されたら、 ロータリーコマンドーを押す

スキャンプレイ設定がOFFになります



メモ

- ふだんの再生画面に戻っていたら、まず手順2の操作でスキャンプレイ設定を選びます。次に、ロータリーコマンドーを押してください。スキャンプレイ設定がOFFになります。

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- 再生範囲がトラックリピートのときにスキャンプレイ設定をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わってスキャンプレイが行われます。

1 ポーズ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

再生を一時停止します
もう一度押すと、OFFになります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

USB
7

音声を高音質化する

サウンドレトリバー

音の密度感や抑揚感を向上させて再生できます。



サウンドレトリバーとは

- 圧縮音声は圧縮処理される際に、人が感じ取りにくい部分の音声削除されてしまいます。サウンドレトリバー機能では、削除された部分の音声を補うことによって、音の密度感や抑揚感を向上させて再生します。

1

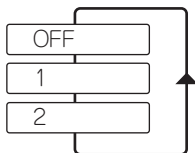
サウンドレトリバー設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で設定が切り換わります



3

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- サウンドレトリバーの効果は、1 より2の方が大きくなります。



知っている则便利

- サウンドレトリバー設定の切り換えは、S.Rtv ボタンでも操作できます。(P.27 27ページ)

USB
8

タイトルやアーティスト名を表示させる

タイトル表示

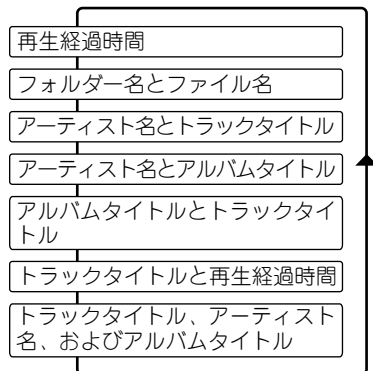
トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示させることができます。また、隠れている文字をスクロール表示で見えることもできます。

1

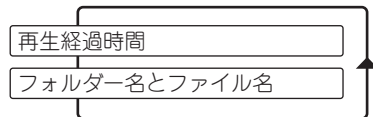
DISP ボタンを押す

DISP ボタンを押すごとに、次の順序で切り換わります

WMA/MP3/AAC再生時



WAV再生時



知っている则便利

- 隠れている文字を表示させるには、DISP ボタンを長く押します。



メモ

- 本機の文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- アーティスト名/アルバムタイトルなどが収録されていないフォルダ/ファイルで表示を切り換えると、タイトル表示は空白になります。
- ファイルをエンコード/ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。

ファイル名やフォルダー名の一覧（フォルダー／ファイルリスト）を見ながら、聞きたいファイルやフォルダーを選べます。

1 LIST ボタンを押す

フォルダー／ファイルリストが表示されます

2 ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとにフォルダー名やファイル名が切り換わります

次のフォルダー（ファイル）を選ぶとき：
右に回す

前のフォルダー（ファイル）を選ぶとき：
左に回す



選んでいるフォルダーの中に収録されているフォルダーや曲（ファイル）の数を表示します。

3 聞きたいファイルが入っているフォルダーが中央に表示されているときに、ロータリーコマンドを右に操作する

選んだフォルダーに収録されているフォルダーやファイルのリストが表示されます

4 聞きたいファイルが中央に表示されているときに、ロータリーコマンドを押す

選んだファイルが再生されます



知っている则便利

- ロータリーコマンドを上下に操作して、聞きたいファイル名やフォルダー名を選ぶこともできます。
- ロータリーコマンドを左に操作すると、1つ前のリスト（1つ上の階層）に戻ります。
- フォルダーを中央に表示しているときにロータリーコマンドを長く押しすと、そのリスト内の曲を最初からすべて再生できます。ロータリーコマンドを右に長く操作することでも可能です。
- ロータリーコマンドを右に操作して、中央に表示しているリストを選ぶこともできます。
- 最上位の階層に戻るには、ロータリーコマンドを左に長く操作します。



メモ

- 再生中のファイルやフォルダーは反転表示されます。
- フォルダー／ファイルリストは、必ず「ROOT」から表示されます。
- USB機器内に再生できるファイルがない場合、「No Audio」が表示されます。
- フォルダー内に再生できるファイルがない場合、ロータリーコマンドを長く押ししても再生しません。
- リスト表示中のフォルダー番号は、実際の番号とは異なります。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESCボタンを押します。（30秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。）
- 収録ファイル数が多く、リスト番号が3桁になる場合は、下2桁だけが表示されます。

iPod
1

チャプターを選ぶ

USB接続時のみ操作できる機能です。

再生しているオーディオブックやPodcastにチャプターがある場合、チャプターを選べます。

1 ロータリーコマンダーを左右に操作する

チャプターが切り換わります

次のチャプターを選ぶとき：右に操作する
前のチャプターを選ぶとき：左に操作する

iPod
2

聞きたい曲をさがす

ジャンル、アーティスト、アルバムなどの項目から、お好みの曲を選んで再生できます。



ご注意

- iPod に保存してあるファイルの数によっては、項目の表示に時間がかかる場合があります。
- 本機が表示できない文字がiPodに記録されている場合、その文字は表示されません。
- iPodアダプターを使用している場合、「作曲者」「Podcast」「オーディオブック」は選べません。

1 LIST ボタンを押す

ブラウズモードになります

2 項目を選ぶ

ロータリーコマンダーを回して選びたい項目を中央に表示し、ロータリーコマンダーを押す

プレイリスト、アーティスト、アルバム、曲、Podcast（ポッドキャスト）、ジャンル、作曲者、オーディオブックの中から選べます。

3 項目を絞り込む

手順2 の操作を繰り返して、項目を絞り込むことができます。

4 お好みの曲を選ぶ

ロータリーコマンダーを回してお好みの曲を中央に表示し、ロータリーコマンダーを押す

お好みの曲の再生が始まります。

USB 接続時のみ操作できる機能です。

アーティストやアルバムなどのリスト表示中に、頭文字のアルファベットを指定して検索できます。



知っていると便利

- ロータリーコマンドーを上下に操作して、項目を切り換えることもできます。
- ロータリーコマンドーを左に操作すると、前の項目（1つ上の階層）に戻ります。
- アルファベット順に表示する項目のときに、LIST ボタンを押すと、アルファベットサーチモードになります。(※ iPod 3)
- 再生したい項目を中央に表示しているときにロータリーコマンドーを長く押し、その項目内の曲を最初からすべて再生できます。ロータリーコマンドーを右に長く操作することでも可能です。
- ロータリーコマンドーを右に操作して、中央に表示している項目を選ぶこともできます。
- 最上位の階層に戻るには、ロータリーコマンドーを左に長く操作します。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。(30 秒間、何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)



ご注意

- アルファベット順に表示されるリストのときに操作できます。
- 頭文字が、半角のアルファベット、数字、および記号で記録されているものが対象です。



1 アーティストやアルバムなどのリストを表示する

「聞きたい曲をさがす」(iPod 2) の手順 1～5 を参照して、アーティストやアルバムなどのリストを表示する



2 リスト表示中に LIST ボタンを押す

アルファベットサーチモードに切り換わります



3 アルファベットを選ぶ

ロータリーコマンドーを回して検索したいアルファベットを表示し、ロータリーコマンドーを押す

指定したアルファベットを先頭にして、リストが表示されます。



ご注意

- 対象となる曲がなかったときは、「Not Found」が表示されたあとリスト表示に戻ります。



4 お好みの曲を選ぶ

ロータリーコマンドーを操作してお好みの曲を中央に表示し、ロータリーコマンドーを押す

iPod
4

ファンクションメニューの切り換えかた

「繰り返し再生する」「違う曲順で再生する」などの便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



ご注意

- 「操作設定」は、iPod nano（第2世代）を接続しているときだけ操作できます。

使いたい機能を選ぶ

1

ロータリーコマンドを押す

メインメニューが表示されます

2

ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

3

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります

■USBで接続しているとき



■iPodアダプターで接続しているとき



知っている则便利

- リモコンのFUNCボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESCボタンを押します。(30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に戻ります。)
- 「操作設定」を「iPod」にした場合、「操作設定」と「サウンドレトリバー設定」以外には切り換わりません。

繰り返し再生する

リピート再生

曲を繰り返し（リピート）再生できます。繰り返しの範囲は、今聞いている曲、今聞いているリストから選べます。



ご注意

- 1曲リピートを選ぶと、ロータリーコマンドを左右に操作して曲を選ぶことはできなくなります。

1 再生範囲切換にする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドを押す

ロータリーコマンドを押すごとに、次の順序で再生範囲が切り換わります

Repeat One (1曲リピート)

Repeat All (リスト内全曲リピート)

1曲リピート：

今聞いている曲を繰り返し再生します。

リスト内全曲リピート：

今聞いているリスト内のすべての曲を繰り返し再生します。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

違う曲順で再生する

シャッフル再生

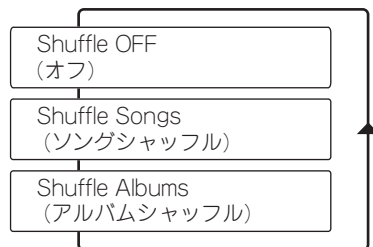
曲やアルバムを順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 シャッフル設定にする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドを押す

ロータリーコマンドを押すごとに、次の順序でシャッフル設定が切り換わります



ソングシャッフル：

今聞いているリスト内の曲をランダムに再生します。

アルバムシャッフル：

アルバムをランダムに選び、選んだアルバム内の曲を順番通りに再生します。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



知っている则便利

- iPodアダプター（例：「CD-IB10II」）と組み合わせてiPodを接続している場合、**⏏** ボタンでも操作できます。（※ **こゝ**だけで **④ 27** ページ）

iPod
7

すべての曲をシャッフルしてから再生する

全曲シャッフル

USB接続時のみ操作できる機能です。

iPodのミュージックライブラリ内のすべての曲を順不同(ランダム)に再生できます。

1 シャッフルオール設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

「Shuffle All」が2秒間表示され、全曲シャッフル再生が始まります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります




メモ

- 全曲シャッフルを解除するには、「シャッフル設定」で「Shuffle OFF」を選びます。(※ iPod ⑥ 55 ページ)



知っているとも便利

- iPodをUSB接続した場合、シャッフルオールの設定は  ボタンでも操作できます。(※ ここだけで ⑥ 27 ページ)

iPod
8

アルバムリストにショートカットする

リンクサーチ

USB接続時のみ操作できる機能です。

再生中のアーティストのアルバムリストを直接表示できます。アーティストの他のアルバムや曲を聞きたくなったときに便利です。



ご注意

- iPodに保存してあるファイルの数によっては、リストの表示に時間がかかる場合があります。

1 リンクサーチにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

再生中のアーティストのアルバムリストが表示されます

3 アルバムまたは曲を選ぶ

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ
(※ iPod ② 52 ページ)

知っているとも便利

- リンクサーチは、ふだんの再生画面でLISTボタンを長く押ししても、操作できます。(※ ここだけで ⑥ 27 ページ)

第2世代 iPod nanoのUSB接続時のみ操作できる機能です。

接続したiPod から本機のiPod 機能操作できます。



ご注意

- iPod から本機を操作(「操作設定」を「iPod」に設定)して再生した場合、車のエンジンスイッチをOFFにしても、iPodの再生は停止されません。iPodを操作して、再生を停止してください。



ご注意

- 「iPod」に設定した場合は、以下の制限があります。
 - ー ふだんの再生画面では、再生経過時間やタイトルは表示されません。
 - ー ファンクションメニューの機能は、「操作設定」と「サウンドレトリバー設定」以外には切り換わりません。
 - ー ブラウズモード (※ iPod ② 52ページ) には切り換わりません。
 - ー 音量は本機からしか調節できません。
- 「iPod」に設定すると、再生は停止されず、iPodを操作して、再生してください。

1

操作設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ



メモ

- 「操作設定」が「iPod」になっている場合は、「Control : iPod」と表示されます。



知っている则便利

- コントロールモードの切り換えはiPodボタンでも操作できます。(※ ここだけで ⑥ 27ページ)
- 「操作設定」を「iPod」設定していても、本機のロータリーコマンドーを左右に操作することで曲を選ぶことができます。

2

ロータリーコマンドーを押す

押すごとに「iPod」と「AUDIO」が切り換わります

iPod :

iPod から本機のiPod 機能操作します。

AUDIO :

本機から本機のiPod 機能操作します。

3

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

iPod
10**再生を一時停止する**

ポーズ

曲の再生を一時停止できます。

1 ポーズ設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

再生を一時停止します

もう一度押すと、OFFになります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

iPod
11**オーディオブックの再生速度を変更する**

USB 接続時のみ操作できる機能です。

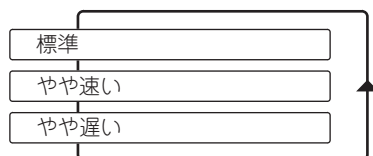
オーディオブックの再生中に、オーディオブックの再生速度を変更できます。

1 オーディオブックにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で再生速度が切り換わります

**3 BAND/ESC ボタンを押す**

ふだんの再生画面に戻ります

USB 接続時のみ操作できる機能です。

音の密度感や抑揚感を向上させて再生できます。



サウンドレトリバーとは

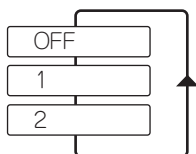
- 圧縮音声は圧縮処理される際に、人が感じ取りにくい部分の音声削除されてしまいます。サウンドレトリバー機能では、削除された部分の音声を補うことによって、音の密度感や抑揚感を向上させて再生します。

1 サウンドレトリバー設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに、次の順序で設定が切り換わります



3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- サウンドレトリバーの効果は、1 より2の方が大きくなります。



知っていると便利

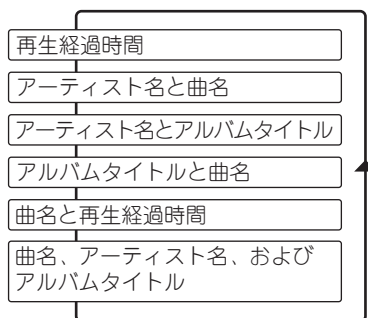
- サウンドレトリバー設定の切り換えは、S.Rtv ボタンでも操作できます。(※ **ここだけで 627ページ**)

iPod に記録されている曲名やアーティスト名、アルバムタイトルなどを表示させることができます。また、隠れている文字をスクロール表示で見ることができます。

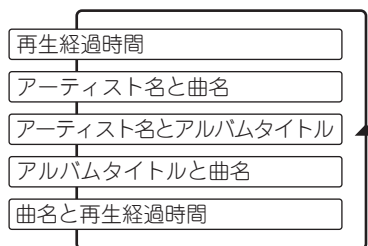
1 DISP ボタンを押す

DISP ボタンを押すごとに、次の順序で切り換わります

■USBで 接続しているとき



■iPod アダプターで接続しているとき



知っていると便利

- 隠れている文字を表示させるには、DISP ボタンを長く押しします。



メモ

- 本機の文字表示は、ひらがなや漢字などにも対応しています。
- 本機が表示できない文字が iPod に記録されている場合、その文字は表示されません。

BT Audio について

本機でのBluetoothアダプター（例：「CD-BTB10」）の基本的な操作方法を説明しています。Bluetoothアダプターの機能について、詳しくは組み合わせたBluetoothアダプターの取扱説明書をご覧ください。

（画面例）



BT Audio 1

BT Audio のふだんの操作

Bluetooth対応機器を本機のソースとして使用できます。



ご注意

- Bluetooth対応機器を本機のBT Audioソースとして使用する場合、以下の設定を行う必要があります。
 - － BT AudioソースをONにする（※ 初期設定 ⑩ 101 ページ）
 - － パスコードを編集する（※ 初期設定 ⑩ 101 ページ）
 - － Bluetooth接続する（※ BT Audio ②）

1

ソースをBT Audioにする

SRC ボタンを押す

2

ロータリーコマンドーを左右に操作する

■ 聞きたい曲を選ぶとき

次の曲を選ぶ：右に操作する

前の曲を選ぶ：左に操作する

■ 早送り／早戻しをするとき

早送り：右に操作し続ける

早戻し：左に操作し続ける

3

BT Audio の再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする



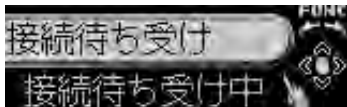
メモ

- 組み合わせるBluetooth対応機器によっては、操作や動作が異なる場合があります。Bluetooth対応機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 組み合わせるBluetooth対応機器によっては、早送り／早戻し中に音声が出ない場合があります。

ファンクションメニューの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンドを押す

メインメニューが表示されます

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります

■BT Audio が接続されていないとき

接続待ち受け ↔ デバイス情報 ↔ 接続待ち受けに戻る

■BT Audio が接続されているとき

接続解除設定 ↔ 再生 ↔ 停止 ↔ ポーズ設定 ↔ デバイス情報 ↔ 接続解除設定に戻る

4 選んだ機能进行操作する

接続待ち受け

ロータリーコマンドを押すと、Bluetooth対応機器の接続待ち受け状態になります。Bluetooth対応機器を操作して、本システムと接続します。

接続解除設定

ロータリーコマンドを押すと、Bluetooth接続を解除します。

再生

ロータリーコマンドを押すと、Bluetooth対応機器の再生を始めます。

停止

ロータリーコマンドを押すと、Bluetooth対応機器の再生を停止します。

ポーズ設定

ロータリーコマンドを押すごとに、ON/OFFします。

デバイス情報

(BT Audio 62 ページ)



知っているとお便利

- リモコンのFUNCボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESCボタンを押します。(30秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)



ご注意

- BT Audio が低いレベルで接続されている場合、「再生」、「停止」、「ポーズ設定」には、切り換わりません。

BT Audio

3

本システムのデバイス 情報を確認する

1 デバイス情報にする

ロータリーコマンダーを操作して選ぶ
本システムのデバイス名が表示されます。

2 ロータリーコマンダーを左に 操作する

デバイスアドレスが表示されます
ロータリーコマンダーを右に操作すると、デ
バイス名表示に戻ります。

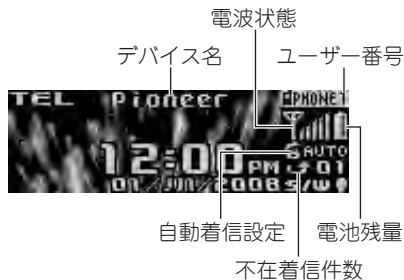
3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

BT Telephone について

本機でのBluetoothアダプター（例：「CD-BTB10」）の基本的な操作方法を説明しています。Bluetoothアダプターの機能について、詳しくは組み合わせたBluetoothアダプターの取扱説明書をご覧ください。

（画面例）



携帯電話

1

電話の待ち受けソースにする

BT Telephone

電話の待ち受けソース（BT Telephone）では、本システムに接続したBluetooth対応の携帯電話のさまざまな設定を行うことができます。



ご注意

- 本機で、Bluetooth対応の携帯電話を使用して、ハンズフリー通話をするには、Bluetooth接続を行う必要があります。（※ 携帯電話 ⑥ 68 ページ）

1

ソースを電話の待ち受けにする

SRC ボタンを押す



メモ

- 組み合わせるBluetooth対応の携帯電話によっては、操作や動作が異なります。携帯電話の取扱説明書も併せてご覧ください。

携帯電話

2

電話番号を入力して電話をかける

電話番号を入力して電話をかけることができます。

1 リモコンのDIRECT ボタンを押す

ナンバー入力発信が表示されます

2

リモコンの0～9 ボタンを押す

押した番号が入力されます

3

リモコンのジョイスティックを押す

入力した番号が決定されます

4

もう一度リモコンのジョイスティックを押す

決定した番号に発信します



知っていると便利

- ロータリーコマンドを押して、電話をかけることもできます。
- ファンクションメニューの「ナンバー入力発信」(※ 携帯電話 ⑩ 75 ページ) を選んだ場合も、同様の操作になります。

携帯電話

3

プリセットダイヤルで電話をかける

プリセットダイヤルに登録されている電話番号へ電話をかけることができます。



ご注意

- プリセットダイヤルで電話をかけるには、あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。(※ 携帯電話 ⑩ 74 ページ)

1

リモコンの1～6 ボタンを押す

押した番号に登録されている電話番号を呼び出します

2

リモコンのジョイスティックを押す

選んだプリセット番号に登録されている電話番号に発信します



知っていると便利

- ロータリーコマンドを押して、電話をかけることもできます。

音声操作で電話をかける

音声認識機能のある携帯電話を接続している場合、音声認識機能で電話をかけることができます。音声操作について、詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。



ご注意

- 音声認識機能のない携帯電話では、「機能がありません」と表示されて、操作できません。
- 音声認識機能のある携帯電話でも、HFP 接続できていない場合は、操作できません。

1 BAND/ESC ボタンを長く押す

音声認識画面が表示されます

2 電話をかけたい相手の名前を発話する

発話した名前の相手に発信します

かかってきた電話に出る

どのソースを聞いているときでも、本機の電源がOFFのときでも、かかってきた電話に出ることができます。

かかってきた電話に出る

1 電話がかかってきたら、ロータリーコマンダーを押す

電話がつながり、通話できます

2 通話中に、ロータリーコマンダーを回す

通話中の相手声の音量（受話音量）を調節する

3 ロータリーコマンダーを下に操作する

電話が切れます

通話中にかかってきた別の電話に出る（割込通話）



ご注意

- 割込通話機能の利用には、携帯電話会社との契約が必要です。
- 割込通話中は、通話の相手を切り換えることはできませんが、通話を個別に切ることができます。

1 電話がかかってきたら、ロータリーコマンダーを押す

ロータリーコマンダーを押すごとに、通話の相手が切り換わります

2 ロータリーコマンダーを下に操作する

通話中の相手だけでなく、保留にしている相手の電話も切れます

携帯電話

6

かかってきた電話を切る（着信拒否）

電話に出られないときは、着信を拒否できます。また、通話中にかかってきた別の電話の着信を拒否することもできます。

かかってきた電話を切る

1 電話がかかってきたら、ロータリーコマンダーを下に操作する

かかってきた電話の着信を拒否します



知っていると便利

- 手動で着信拒否をした場合、電話番号が不在着信履歴に残ります。(※ 携帯電話 ⑥ 74ページ)
- すべての着信を自動で拒否することもできます。この場合、電話番号は不在着信履歴には残りません。(※ 携帯電話 ② 77ページ)

通話中にかかってきた別の電話を切る



ご注意

- 通話中にかかってきた電話は、手動で着信拒否をした場合でも、電話番号は不在着信履歴に残りません。

1 電話がかかってきたら、ロータリーコマンダーを下に操作する

通話中に、かかってきた電話の着信を拒否します

携帯電話

7

ファンクションメニューの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンダーを押す

メインメニューが表示されます

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンダーを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンダーを押す

3 ローターコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります

■携帯電話が接続されていないとき

BT 機器接続設定 (☎ 携帯電話 ⑧ 68 ページ)

↓

接続待ち受け (☎ 携帯電話 ⑧ 68 ページ)

↓

電話機接続設定 (☎ 携帯電話 ⑩ 70 ページ)

↓

電話機登録削除 (☎ 携帯電話 ⑫ 71 ページ)

↓

電話帳転送 (☎ 携帯電話 ⑬ 71 ページ)

↓

着信拒否設定 (☎ 携帯電話 ⑳ 77 ページ)

↓

自動着信設定 (☎ 携帯電話 ㉓ 77 ページ)

↓

着信BEEP音設定 (☎ 携帯電話 ㉔ 76 ページ)

↓

自動接続設定 (☎ 携帯電話 ㉑ 70 ページ)

↓

エコークャンセル設定
(☎ 携帯電話 ㉔ 76 ページ)

↓

デバイス情報 (☎ 携帯電話 ㉔ 78 ページ)

↓

BT 機器接続設定に戻る

■携帯電話が接続されているとき

接続解除設定 (☎ 携帯電話 ⑨ 69 ページ)

↓

電話機登録設定*¹ (☎ 携帯電話 ⑩ 69 ページ)

↓

電話機登録削除 (☎ 携帯電話 ⑫ 71 ページ)

↓

電話帳転送 (☎ 携帯電話 ⑬ 71 ページ)

↓

電話帳表示切換*²
(☎ 携帯電話 ⑭ 72 ページ)

↓

ユーザーメモリー消去*³
(☎ 携帯電話 ⑮ 75 ページ)

↑

ナンバー入力発信 (☎ 携帯電話 ⑰ 75 ページ)

↓

着信拒否設定 (☎ 携帯電話 ⑳ 77 ページ)

↓

自動着信設定 (☎ 携帯電話 ㉓ 77 ページ)

↓

着信BEEP音設定 (☎ 携帯電話 ㉔ 76 ページ)

↓

自動接続設定 (☎ 携帯電話 ㉑ 70 ページ)

↓

エコークャンセル設定
(☎ 携帯電話 ㉔ 76 ページ)

↓

デバイス情報 (☎ 携帯電話 ㉔ 78 ページ)

↓

接続解除設定に戻る



知っている则便利

- リモコンのFUNC ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- 電話の待ち受け画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。
- 30 秒間何も操作しないと、電話の待ち受け画面に自動的に戻ります。ただし、次の機能の場合は自動では戻りません。
「BT 機器接続設定」「接続待ち受け」「接続解除設定」「電話機接続設定」「電話帳転送」「電話帳表示切換」「ユーザーメモリー消去」「ナンバー入力発信」

*¹ 接続中の電話機が登録されているときは、「電話機登録設定」には切り換わりません。

*² 接続中の電話機がユーザーとして登録されているときに、「電話帳表示切換」に切り換わります。

*³ 接続中の電話機が登録されているときに、「ユーザーメモリー消去」に切り換わります。

携帯電話を接続する

接続可能な携帯電話を検索して接続する

1 BT 機器接続設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

接続可能な携帯電話を検索する

接続可能な携帯電話が見つかったら、デバイス名（機器名称）が表示されます。

- 接続可能な携帯電話が複数見つかった場合は、ロータリーコマンドーを上下に操作して、接続する携帯電話を選びます。

3 もう一度、ロータリーコマンドーを押す

携帯電話を Bluetooth 接続する

接続を完了するには、携帯電話で本システムのデバイス名を確認し、パスコードを入力します。接続が完了すると、「接続しました」と表示されます。

4 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります



知っているとお便利

- ロータリーコマンドーを左右に操作すると、携帯電話のデバイス名（機器名称）とデバイスアドレスを切り換えることができます。



メモ

- パスコードの初期設定は、「0000」です。パスコードは変更できます。（※ 初期設定 101 ページ）
- 携帯電話のデバイス名が取得できなかった場合は、「Name not found」と表示されます。
- 接続可能な携帯電話が見つからなかった場合は、「見つかりません」と表示されます。

携帯電話から接続する



ご注意

- 携帯電話によって操作は異なります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話によっては、パスコードの入力が必要になる場合があります。
- パスコードの初期設定は、「0000」です。パスコードは変更できます。（※ 初期設定 101 ページ）

1 接続待ち受けにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

携帯電話からの接続待ち受け状態になります

3 携帯電話を操作して、本システムと Bluetooth 接続する

携帯電話が Bluetooth 接続されます

4 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります

Bluetooth 接続を解除する

1 接続解除設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

本システムとの Bluetooth 接続が解除されます

3 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります

携帯電話を登録する

1 電話機登録設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを上下に操作する

登録する設定を選ぶ

P1 (ユーザー 1)、P2 (ユーザー 2)、P3 (ユーザー 3)、G1 (ゲスト 1)、G2 (ゲスト 2) の中から選べます。

3 ロータリーコマンドーを押す

携帯電話が選んだ設定に登録されます



ご注意

- すでに登録されている携帯電話は、別の設定に登録できません。



知っている则便利

- ロータリーコマンドーを左右に操作すると、携帯電話のデバイス名 (機器名称) とデバイスアドレスを切り換えることができます。

4 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります



ご注意

- ゲストとして登録された携帯電話では、一部操作できない機能があります。

登録されている携帯電話を接続する

手動で接続する

1 電話機接続設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを上下に操作する

接続したい携帯電話の設定を選ぶ

P1 (ユーザー 1)、P2 (ユーザー 2)、P3 (ユーザー 3)、G1 (ゲスト 1)、G2 (ゲスト 2) の中から選べます。



知っている则便利

- ロータリーコマンドーを左右に操作すると、携帯電話のデバイス名 (機器名称) とデバイスアドレスを切り換えることができます。

3 ロータリーコマンドーを押す

選んだ携帯電話が Bluetooth 接続されます

4 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります

自動で接続する

1 自動接続設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

自動接続設定が ON になります

本システムに登録されている携帯電話と自動的に Bluetooth 接続を開始する待機状態になります。

もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります



メモ

- 登録されている携帯電話でも、機種によっては自動接続できない場合があります。この場合は、手動で接続してください。

携帯電話の登録を削除する

1 電話機登録削除にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを上下に操作する

登録を削除したい携帯電話の設定を選ぶ

P1 (ユーザー 1)、P2 (ユーザー 2)、P3 (ユーザー 3)、G1 (ゲスト 1)、G2 (ゲスト 2) の中から選べます。



知っていると便利

- ロータリーコマンドーを左右に操作すると、携帯電話のデバイス名（機器名称）とデバイスアドレスを切り換えることができます。

3 ロータリーコマンドーを右に操作する

確認画面が表示されます

4 ロータリーコマンドーを押す

選んだ携帯電話の登録が削除されます

5 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります

携帯電話の電話帳を転送する

1 電話帳転送にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

電話帳転送の待機状態になります

3 携帯電話を操作して、本システムに電話帳データを転送する

電話帳が転送されます

4 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります



メモ

- 電話帳データの転送は、携帯電話を操作して行います。(携帯電話の操作方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。)

携帯電話

14

電話帳の表示方法を切り換える

1 電話帳表示切換にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

電話帳データの表示方法が切り換わります

ロータリーコマンドーを押すごとに、電話帳データの表示方法が切り換わります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります



メモ

- 電話帳データを転送した携帯電話によっては、表示方法を切り換えられない場合があります。

携帯電話

15

電話帳を使う

電話帳から電話をかける

1 LIST ボタンを押す

ボタンを押すごとに次の順序で切り換わります

電話帳 → 不在着信履歴 → 発信履歴 → 着信履歴 → 電話帳に戻る

2 ロータリーコマンドーを回す

電話をかけたい相手を選ぶ

次のデータを選ぶとき：右に回す

前のデータを選ぶとき：左に回す

3 ロータリーコマンドーを右に操作する

選んだデータの詳細リストが表示されます

4 電話番号が複数登録されている場合、ロータリーコマンドーを回す

かけたい電話番号を選ぶ

次の電話番号を選ぶとき：右に回す

前の電話番号を選ぶとき：左に回す

5 ロータリーコマンドーを押す

選んだ電話番号に電話をかける

通話を終了するときは、ロータリーコマンドーを下に操作します。



メモ

- 詳細リスト表示中にDISP ボタンを長く押しすと、名前と電話番号をスクロール表示できます。
- ゲスト登録された携帯電話では、電話帳には切り換わりません。
- リスト表示は、30秒間何も操作しないと自動的に電話の待ち受け画面に戻ります。

電話帳編集画面を表示する

1 電話帳から、編集したいデータの詳細リストを表示する

2 ロータリーコマンドーを長く押す

電話帳編集画面が表示されます

3 ロータリーコマンドーを回す

編集する項目を選ぶ

電話番号編集、電話帳削除の中から選べます。

電話帳データの電話番号を編集する

1 電話番号編集画面にする

2 電話番号を編集する

■ 入力する数字を選ぶとき

次の数字を選ぶ：上に操作する

前の数字を選ぶ：下に操作する

■ 入力する位置を選ぶとき

右に移動する：右に操作する

左に移動する：左に操作する

3 ロータリーコマンドーを押す

編集した電話番号が登録され、詳細リストに戻ります

電話帳データを削除する

1 電話帳削除画面にする

2 ロータリーコマンドーを右に操作する

確認画面が表示されます

電話帳削除画面に戻すときは、ロータリーコマンドーを左に操作します。

3 ロータリーコマンドーを押す

選んだ電話帳データが削除され、3行リスト表示に戻ります

携帯電話
16

履歴から電話をかける

不在着信履歴、発信履歴、着信履歴に記録されている電話番号へ電話をかけることができます。

1 LIST ボタンを押す

ボタンを押すごとに次の順序で切り換わります

電話帳 → 不在着信履歴 → 発信履歴 → 着信履歴 → 電話帳に戻る

2 ロータリーコマンドーを回す

電話をかけたい履歴データを選ぶ

次のデータを選ぶとき：右に回す

前のデータを選ぶとき：左に回す

3 ロータリーコマンドーを右に操作する

選んだデータの詳細リストが表示されます

3行リスト表示に戻すときは、ロータリーコマンドーを左に操作します。

4 ロータリーコマンドーを押す

選んだ履歴データに電話をかける

通話を終了するときは、ロータリーコマンドーを下に操作します。



メモ

- 電話帳データに登録されている電話番号は、登録名が表示されます。
- ゲスト登録された携帯電話では、電話帳には切り換わりません。
- リスト表示は、30秒間何も操作しないと自動的に電話の待ち受け画面に戻ります。

携帯電話
17

よくかける電話番号を登録する

プリセットダイヤル

1 LIST ボタンを押す

プリセットダイヤルに登録したい電話番号の入っているリストを選ぶ

電話帳、不在着信履歴、発信履歴、着信履歴の中から選べます。

2 ロータリーコマンドーを回す

登録したい電話番号を選ぶ

次のデータを選ぶとき：右に回す

前のデータを選ぶとき：左に回す

3 ロータリーコマンドーを右に操作する

選んだデータの詳細リストが表示されます

4 リモコンの1～6ボタンを長く押す

選んだプリセット番号に電話番号が登録されます

データを消去する

1 ユーザーメモリー消去にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを上下に操作する

消去するデータを選ぶ

電話帳、不在着信履歴、発信履歴、着信履歴、プリセットダイヤル、すべて削除の中から選べます。

3 ロータリーコマンドーを右に操作する

確認画面が表示されます

4 ロータリーコマンドーを押す

選んだデータが消去されます

5 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります



メモ

- 「すべて削除」を選ぶと、電話帳、不在着信履歴、発信履歴、着信履歴、プリセットダイヤルの全データを消去します。
- ゲスト登録された携帯電話では、電話帳には切り換わりません。

電話番号を入力して電話をかける

1 ナンバー入力発信にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 電話番号を入力する

■ 入力する数字を選ぶとき

次の数字を選ぶ：上に操作する
前の数字を選ぶ：下に操作する

■ 入力する位置を選ぶとき

右に移動する：右に操作する
左に移動する：左に操作する

3 ロータリーコマンドーを押す

入力した電話番号が決定され、確認画面が表示されます

入力画面表示に戻るときは、ロータリーコマンドーを右に操作します

4 もう一度、ロータリーコマンドーを押す

入力した電話番号に電話をかける

通話を終了するときには、ロータリーコマンドーを下に操作します。

携帯電話

20

通話中のノイズやエコーを軽減する

1 エコーキャンセル設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

エコーキャンセル設定がONになります
もう一度押すと、OFFになります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります

携帯電話

21

着信音をON / OFFする

1 着信BEEP音設定にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

着信BEEP音設定がONになります
もう一度押すと、OFFになります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります

着信拒否を設定する

1 着信拒否設定にする

ロータリーコマンダーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンダーを押す

着信拒否設定が ON になります
もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります

自動着信を設定する

1 自動着信設定にする

ロータリーコマンダーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンダーを押す

自動着信設定が ON になります
もう一度押すと、OFF になります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります

本システムのデバイス情報を確認する

1 デバイス情報にする

ロータリーコマンダーを操作して選ぶ
本システムのデバイス名が表示されます。

2 ロータリーコマンダーを左に操作する

デバイスアドレスが表示されます
ロータリーコマンダーを右に操作すると、デバイス名表示に戻ります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

電話の待ち受け画面に戻ります

テレビについて

本機でのテレビの基本的な操作方法を説明しています。テレビの機能について、詳しくは組み合わせたテレビの取扱説明書をご覧ください。

(画面例)



- 本機では、登録したチャンネルを一覧表示して見たいチャンネルを選ぶこともできます。(※ テレビ ③ 81 ページ)

テレビのふだんの操作

テレビ
1

1 ソースをテレビにする

SRC ボタンを押す

2 BAND ボタンを押す

バンドが切り換わります

3 ロータリーコマンドを左右に操作する

チャンネルが切り換わります

4 テレビの受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする



知っていると便利

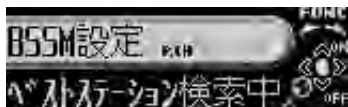
- リモコンの1～6ボタンでお好みのチャンネルの登録や呼び出しができます。操作方法はラジオと同じです。(※ ラジオ ① ② 41 ページ)
- チャンネルリストでもチャンネルを登録できます。(※ テレビ ③ 81 ページ)

テレビ
2

ファンクションメニューの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンダーを押す

メインメニューが表示されます

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンダーを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンダーを押す

3 ロータリーコマンダーを回す

ロータリーコマンダーを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります

BSSM設定 ↔ マルチプレックス選択 ↔ BSSM設定に戻る

4 選んだ機能进行操作する

BSSM設定

ロータリーコマンダーを押すごとに、ON/OFFします。BSSMが終了すると、自動的にチャンネルリストに切り換わります。

マルチプレックス選択

ロータリーコマンダーを押すごとに、次の順序で切り換わります。

Main → Sub → Main & Sub → Mainに戻る



BSSMとは

- BSSMは、「Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー)」の略です。



知っている则便利

- リモコンのFUNCボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの受信画面に戻るときは、BAND/ESCボタンを押します。(30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に戻ります。)

チャンネルリスト機能に対応しているテレビ（例：「AVX-P9DV」や「AVX-P7」）を接続したときだけ、操作できる機能です。

1～12の番号に登録したチャンネルを、チャンネルの一覧（チャンネルリスト）の中からさがすことができます。

1 BAND ボタンを押す

バンドを選ぶ

2 LIST ボタンを押す

チャンネルリストが表示されます

3 ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとにチャンネルが切り換わります

次のチャンネルを選ぶとき：右に回す

前のチャンネルを選ぶとき：左に回す

4 見たいチャンネルが中央に表示されているときに、ロータリーコマンドを押す

選んだチャンネルが受信されます



知っていると便利

- ロータリーコマンドを長く押すと、中央に表示されている登録番号に現在受信しているチャンネルを登録することができます。



メモ

- 受信中のチャンネルは反転表示されます。
- チャンネルリストは、30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。
- ふだんの受信画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。（30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に戻ります。）

DVD プレーヤーについて

本機でのDVDプレーヤー（例：マルチDVD「XDV-P70」、1枚型DVD「SDV-P7」）の基本的な操作方法を説明しています。DVDプレーヤーの機能について、詳しくは組み合わせたDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

（画面例）



DVD 1

DVDのふだんの操作

ここだけの操作で、DVDプレーヤーでディスクを再生することができます。

1 ソースをDVDにする

SRC ボタンを押す

2 マルチDVDの場合、リモコンの1～6ボタンを押す

押した番号のディスクに切り換わります

3 ロータリーコマンダーを左右に操作する

■ チャプター／トラックを選ぶとき

次のチャプター／トラックを選ぶ：
右に操作する

前のチャプター／トラックを選ぶ：
左に操作する

■ 早送り／早戻しをするとき

早送り：右に操作し続ける

早戻し：左に操作し続ける

4 DVDプレーヤーの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源をOFFにする



知っている则便利

- CDにタイトルが入力されている場合、DISPボタンを押すごとに、ディスクタイトル表示をON/OFFできます。

ファンクションメニューの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、ファンクションメニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンドーを押す

メインメニューが表示されます

2 ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドーを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドーを押す

3 ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります

DVD、ビデオ CD 再生時

再生範囲切替 ↔ ポーズ設定 ↔ 再生範囲切替に戻る

CD 再生時

再生範囲切替 ↔ ランダムプレイ設定 ↔ スキャンプレイ設定 ↔ ポーズ設定 ↔ ITSプレイ設定 ↔ ITS登録 ↔ タイトル入力 ↔ 再生範囲切替に戻る

CD-ROM 再生時

再生範囲切替 ↔ ランダムプレイ設定 ↔ スキャンプレイ設定 ↔ ポーズ設定 ↔ 再生範囲切替に戻る

次のページへ続く

4 選んだ機能进行操作する

再生範囲切換

ロータリーコマンドを押すごとに、再生範囲が次の順序で切り換わります。

DVD 再生時

Disc repeat → Chapter repeat → Title repeat → Disc repeatに戻る

ビデオ CD、CD 再生時

Disc repeat → Track repeat → Disc repeatに戻る

CD-ROM 再生時

Disc repeat → Track repeat → Folder repeat → Disc repeatに戻る

ランダムプレイ設定

ロータリーコマンドを押すごとに、ON / OFFします。


スキャンプレイ設定

ロータリーコマンドを押すごとに、ON / OFFします。

ポーズ設定

ロータリーコマンドを押すごとに、ON / OFFします。


タイトル入力

タイトル入力の操作方法は、CDと同じです。
( CD 13 37 ページ)

ITS プレイ設定

ITS プレイ設定の操作方法は、マルチ CD と同じです。
( CD 10 35 ページ)

ITS 登録

ITS 登録の操作方法は、マルチ CD と同じです。
( CD 9 34 ページ)




メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESC ボタンを押します。(「タイトル入力」や「ITS 登録」を選んでおるとき以外は、30 秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)
- 「CD TEXT」に対応している DVD プレーヤーで「CD TEXT」を再生しているときは、「タイトル入力」には切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)
- 組み合わせたマルチ DVD プレーヤーによって、選べる機能は異なります。



知っていると便利

- リモコンの FUNC ボタンを押して、機能を選ぶこともできます。
- ランダムプレイ設定の ON/OFF の切り換えは、RDM ボタンでも操作できます。
( **ここだけで** 6 27 ページ)

オーディオ調整メニューの切り換えかた

「音量バランス調節」「ラウドネス」などの音質調整機能を使うときは、オーディオ調整メニューで機能を選んで操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 ロータリーコマンドを押す

メインメニューが表示されます

2 オーディオ調整メニューにする

ロータリーコマンドを回して「AUDIO」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります



知っている则便利

- リモコンのAUDIOボタンを押して、機能を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESCボタンを押します。(イコライザー7バンド調節メニューを選んでいるとき以外は、30秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)
- サブウーファー調節メニューは、サブウーファー設定メニューの設定がONのときだけ選べます。
- ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。

音の調節

2

お好みの音の空間に設定する

VSC

VSCは、あらかじめ用意された音場設定を選ぶことで、お好みの音の空間を手軽に演出できます。さらに、乗車位置を選ぶことで、より自然な音響効果が得られます。



VSCとは

- VSCは、「Virtual Sound Creator (バーチャルサウンドクリエイター)」の略です。



SFEとは

- SFEは、「Sound Focus Enhancer (サウンドフォーカスエンハンサー)」の略です。



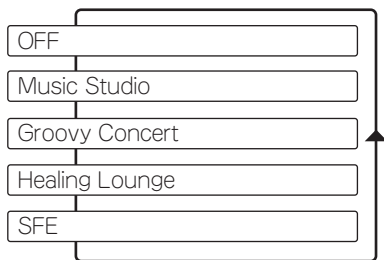
ご注意

- 交通情報を受信しているときや電話の待ち受けソースを選んでいるときは、VSC機能は操作できません。
- 音場設定を切り換えると「HPF」設定 (※音の調節 ⑩ 91 ページ) はOFFになります。

1

VSC ボタンを押す

VSC ボタンを押すごとに、次の順序で音場設定が切り換わります



2

ロータリーコマンドを左右に操作する

乗車位置を選ぶ

Left (左)、Center (左+右)、Right (右)の中から選べます。

3

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

音の調節

3

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー/バランス

前後左右のスピーカーからの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。



ご注意

- リアスピーカー出力の設定 (※初期設定 ⑨ 98 ページ) を、「Rear SP:S/W」にしたときは、Fader (フェーダー) は調節できません。

1

Fader/Balance にする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ

2

音量バランスを調節する

ロータリーコマンドを操作する

■ 前後を調節するとき

前を強める：上に操作する

後ろを強める：下に操作する

前後のバランスは、F15～R15の範囲で調節できます。

■ 左右を調節するとき

右を強める：右に操作する

左を強める：左に操作する

左右のバランスは、L15～R15の範囲で調節できます。

3

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、お好みの音質にできます。



ご注意

- 交通情報を受信しているときや電話の待ち受けソースを選んでいるときは、イコライザーカーブを選べません。

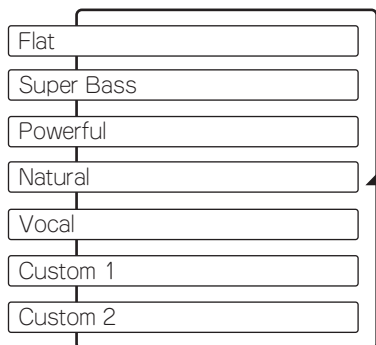
1 イコライザー調節にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを左右に操作する

イコライザーカーブを選ぶ

操作するごとに、次の順序でイコライザーカーブが切り換わります



イコライザーカーブを大きめに補正する

ニュアンスコントロール

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの簡単な補正ができます。



ご注意

- 「Flat」や「Custom1」、「Custom2」は、ニュアンスコントロールによる補正はできません。

1 イコライザー調節にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを左右に操作する

調節するイコライザーカーブを選ぶ

3 ロータリーコマンドーを上下に操作する

レベルを調節する

レベルを大きくするとき：上に操作する

レベルを小さくするとき：下に操作する

レベルは-6～+6の範囲で調節できます。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 「Natural」を選んでいる場合、調節できるレベルは-4～+6の範囲になります。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 「Custom1」と「Custom2」は、お好みに合わせて調節できます。
- 「Flat」は、イコライザーによる音の補正がされていません。他のイコライザーカーブと切り換えることで、そのイコライザーカーブの効果を確認することもできます。

イコライザーカーブを細かく調節する

お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数ごとにレベルを調節できます。



Custom1とは

- 調節したイコライザーカーブがソースごとに登録されます。(内蔵CDとマルチCD、AUX1とAUX2、External1とExternal2は、同じ設定になります。)
- 「Custom2」以外のカーブを選んでいるときに調節すると、自動的に「Custom1」に登録されます。



Custom2とは

- すべてのソースに共通のイコライザーカーブで、調節ができます。「Custom2」を選んでいるときに調節すると、調節内容が更新されます。

1 調節したいイコライザーカーブを選ぶ

「イコライザーカーブを選ぶ」(E3 音の調節 ④) を参照して、調節するイコライザーカーブを選ぶ

2 イコライザー7バンド調節にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

3 ロータリーコマンドーを左右に操作する

周波数を選ぶ

高い周波数を選ぶとき：右に操作する

低い周波数を選ぶとき：左に操作する

50Hz、125Hz、315Hz、800Hz、2kHz、5kHz、12.5kHzの中から選べます。

4 ロータリーコマンドーを上下に操作する

レベルを調節する

レベルを大きくするとき：上に操作する

レベルを小さくするとき：下に操作する

レベルは-6～+6の範囲で調節できます。

5 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

小さな音量でも聞きやすくする

LOUDネス

小さな音量で音楽を聞いていると、低音・高音が不足しているように感じることがあります。LOUDネスは、この不足感を補って、音を聞きやすくします。

1 LOUDにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

LOUDネスがONになります

もう一度押すと、OFFになります。

3 ロータリーコマンドーを左右に操作する

LOUDネスの効果を選ぶ

Low (弱)、Mid (中)、High (強) の中から選べます。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

サブウーファーを使う

本機では、リアスピーカー端子または、RCA出力端子に接続したサブウーファーを調節できます。サブウーファーの調節は、

①サブウーファーのON/OFFと位相切り換え

②サブウーファー調節

の2つのステップで行います。

「サブウーファーの設定について」(※ はじめに ⑧ 18 ページ) を参照して、お手持ちのシステムに合ったサブウーファーの設定を行ってください。



ご注意

- 「RCA出力設定」(※ 初期設定 ⑩ 98 ページ) を「Rear」にしたときは、サブウーファーの調節はできません。
- 「Sub.W1」(サブウーファーのON/OFFと位相切り換え (※ 音の調節 ⑨ 90 ページ)) を「OFF」にした場合は、「Sub.W2」(サブウーファーのカットオフ周波数選択とレベル調節 (※ 音の調節 ⑩ 90 ページ)) は操作できません。

音の調節

9

サブウーファースのON/OFFと位相切り換え

サブウーファー

本機にサブウーファースを接続して使用する場合は、サブウーファースの設定をONにする必要があります。

ONにしたあと、サブウーファースから出力される音が自然に聞こえるように、位相を切り換えてください。



位相切り換えとは

- サブウーファースから出力される音の中には、フロント/リアスピーカースから出力される音と同じ周波数帯域の成分が含まれています。車内条件により、これらの音の位相が反転（干渉）し、打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐために、車内条件に合わせて位相を正相または逆相に切り換えてください。

正相：サブウーファースの音が、フロント/リアスピーカースと同時に出力される

逆相：サブウーファースの音が、フロント/リアスピーカースとタイミングをずらして出力される

1

Sub W.1 にする

ロータリーコマンドースを操作して選ぶ

2

OFFになっている場合は、ロータリーコマンドースを押す

サブウーファースがONになります

もう一度押すと、OFFになります。

3

ロータリーコマンドースを左右に操作する

サブウーファースの位相を選ぶ

正相（Normal）を選ぶとき：右に操作する

逆相（Reverse）を選ぶとき：左に操作する

4

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

音の調節

10

サブウーファースのカットオフ周波数選択とレベル調節

サブウーファース調節

サブウーファースから出力される低音域（カットオフ周波数）と出力レベルを設定します。他のスピーカースから出力される音とのつながりが自然になるように設定してください。



カットオフ周波数とは

- 選んだ周波数よりも上の周波数（もしくは下の周波数）の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。サブウーファースのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも上の音域がカットされ、低音域だけが出力されます。また、カットオフ周波数以下の音域の出力レベルを上げることで、低音をさらに強調させることもできます。

1

Sub W.2 にする

ロータリーコマンドースを操作して選ぶ

2

ロータリーコマンドースを左右に操作する

カットオフ周波数を選ぶ

高い周波数を選ぶとき：右に操作する

低い周波数を選ぶとき：左に操作する

カットオフ周波数は、50 Hz、63 Hz、80 Hz、100 Hz、125 Hzの中から選べます。

3

ロータリーコマンドースを上下に操作する

レベルを調節する

レベルを大きくするとき：上に操作する

レベルを小さくするとき：下に操作する

レベルは、-24～+6の範囲で調節できます。

4

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

低い音を強調する

バスブースター

低音域を強調させることができます。バスブースターのレベルを上げると、迫力のある低音を再生できます。

1 Bassにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを上下に操作する

レベルを調節する

レベルを大きくするとき：上に操作する
レベルを小さくするとき：下に操作する
レベルは、0～6の範囲で調節できます。

3 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- サブウーファー設定のON/OFFによって、ブーストされる音域は、次の周波数以下になります。
サブウーファー設定がONの場合：
サブウーファーのカットオフ周波数に連動
サブウーファー設定がOFFの場合：
100 Hz固定

低い音を出力しないようにする

ハイパスフィルター

選んだ周波数よりも高い音だけを、フロントスピーカー、リアスピーカーから出力します。

フロントスピーカーとリアスピーカーからは高音だけを出力させ、サブウーファーからは低音だけを出力させることで、各スピーカーとサブウーファーの音のつながりを自然にすることができます。



ハイパスフィルター (HPF) とは

- ハイパスフィルター (HPF) は、設定した周波数 (カットオフ周波数) から下の音域 (低音域) をカットして、高音域を通すフィルターです。



カットオフ周波数とは

- 選んだ周波数よりも下の周波数 (もしくは上の周波数) の音域をカットします。このときに選択する周波数を、カットオフ周波数と呼びます。ハイパスフィルターのカットオフ周波数の設定では、カットオフ周波数よりも下の音域がカットされ、高音域だけが出力されます。

1 HPFにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2 ロータリーコマンドーを押す

ハイパスフィルターがONになります
もう一度押すと、OFFになります。

3 ロータリーコマンドーを左右に操作する

カットオフ周波数を選ぶ

高い周波数を選ぶとき：右に操作する
低い周波数を選ぶとき：左に操作する

カットオフ周波数は、50 Hz、63 Hz、80 Hz、100 Hz、125 Hzの中から選べます。

4 BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

音の調節
13

各ソースの音量を揃える

SLA

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違ふことがあります。SLAを使うと、FMの音量を基準にして各ソースの音量をそろえることができます。



SLAとは

- SLAは、「Source Level Adjuster（ソースレベルアジャスター）」の略です。



ご注意

- ラジオのFMを聞いているときは、SLAには切り換わりません。

1

SLAにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2

ロータリーコマンドーを上下に操作する

レベルを調節する

レベルを大きくするとき：上に操作する

レベルを小さくするとき：下に操作する

レベルは-4～+4の範囲で調節できます。

3

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- AM、テレビ、CD、USB、iPod、External（エクスターナルユニット）、AUX（外部機器）の音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、AUX1とAUX2、External1とExternal2、およびAMと交通情報は同じ設定になります。

音の調節
14

騒音に合わせて自動的に音量を変える

ASL

周囲の騒音に合わせて、自動的に音量が変化するように設定できます。



ASLとは

- ASLは、「Automatic Sound Levelizer（オートマティック サウンド レベライザー）」の略です。ASLは、走行速度や道路状況によって変化する車内の騒音を検出して、騒音が大きくなると自動的に音量を大きくする機能です。

1

ASLにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ

2

ロータリーコマンドーを押す

ASLがONになります

もう一度押すと、OFFになります。

3

ロータリーコマンドーを左右に操作する

ASLの感度を選ぶ

高い感度を選ぶとき：右に操作する

低い感度を選ぶとき：左に操作する

感度は、Low、Mid-L、Mid、Mid-H、Highの中から選べます。

4

BAND/ESC ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



メモ

- 音量が十分にあるときは、騒音が大きくても音量の上げ幅は小さくなります。
- ASLが機能して、音量が上がりがすぎた場合、音が歪むことがあります。そのときは音量を下げてください。

初期設定メニューの切り換えかた

「時計調整」「外部機器設定」などの機能を使うときは、初期設定メニューで操作します。初期設定メニューは、電源をOFFにした状態で操作します。

(画面例)



使いたい機能を選ぶ

1 SRC ボタンを長く押す

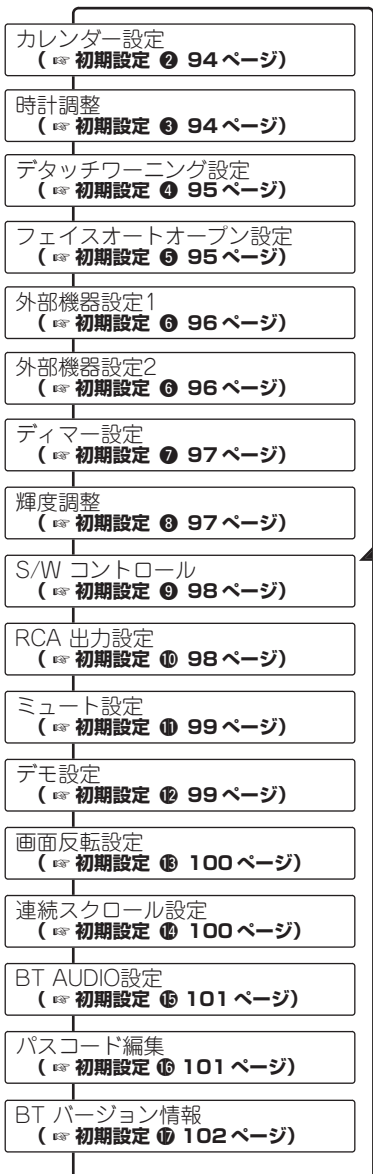
本機の電源をOFFにします

2 ロータリーコマンドを長く押す

初期設定メニューが表示されます

3 ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに、次の順序で機能が切り換わります



メモ

- 初期設定メニューを解除するときは、BAND/ESC ボタンを押します。(初期設定メニューを解除すると、電源がOFFになります。)

初期設定

2

日付を合わせる

カレンダー設定

本機のディスプレイに表示する日付を合わせます。

1

カレンダー設定にする

(☞ 初期設定 ① 93 ページ)

2

日付の設定をする

■年、月、日を選ぶとき

ロータリーコマンドを左右に操作する

■日付を合わせるとき

ロータリーコマンドを上下に操作する

日付を進める：上に操作する

日付を戻す：下に操作する

3

BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります

初期設定

3

時計を合わせる

時計調整

本機のディスプレイに表示する時計の調整ができます。

1

時計調整にする

(☞ 初期設定 ① 93 ページ)

2

時計を調整する

■時または分を選ぶとき

ロータリーコマンドを左右に操作する

時を選ぶ：左に操作する

分を選ぶ：右に操作する

■時刻を合わせるとき

ロータリーコマンドを上下に操作する

時刻を進める：上に操作する

時刻を戻す：下に操作する

分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

■時刻を時報に合わせてとき

ロータリーコマンドを押す

分が“00”になります。

例) 10 : 00 ~ 10 : 29 → 10 : 00

10 : 30 ~ 10 : 59 → 11 : 00

3

BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります

初期設定

4

フロントパネルの外し忘れを警告する

デタッチワーニング

デタッチワーニングは、車を離れるときに、フロントパネルの外し忘れを警告ブザーで知らせる機能です。(初期設定では、OFFになっています。)

イグニッションスイッチをOFFにしたときに、フロントパネルを外し忘れていると、4秒後に警告ブザーが鳴ります。

フロントパネルを取り外すには (☞ はじめに ⑦ 16 ページ)

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 初期設定 ① 93 ページ)

2 ロータリーコマンダーを回す

デタッチワーニング設定を選ぶ

3 ロータリーコマンダーを押す

デタッチワーニング設定がONになります

もう一度押すと、OFFになります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります

初期設定

5

フロントパネルを外しやすくする

フェイスオートオープン

フェイスオートオープンは、車を離れるときに、フロントパネルを外しやすくする機能です。(初期設定では、OFFになっています。)

イグニッションスイッチをOFFにした4秒後に、フロントパネルが自動的に開きます。

フロントパネルを取り外すには (☞ はじめに ⑦ 16 ページ)

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 初期設定 ① 93 ページ)

2 ロータリーコマンダーを回す

フェイスオートオープン設定を選ぶ

3 ロータリーコマンダーを押す

フェイスオートオープン設定がONになります

もう一度押すと、OFFになります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります

外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする

AUX

本機にポータブル音楽再生機器やVTR、ナビゲーションユニットなどの外部機器を接続して、その音声を聞くことができます。

外部機器の接続には、次の3通りがあります。

- ① 付属のAUXケーブルや市販のミニプラグを使用する場合 (AUX1)
- ② 別売のRCA / IP-BUS インターコネクターを使用する場合 (AUX2)
- ③ IP-BUSを使用する場合 (AUX2)
(パイオニア製ナビゲーションユニットのように、IP-BUS出力を持つパイオニア製品を接続する場合)



ご注意

- AUX2は、②と③のどちらか一方の接続方法で使用できます。(両方の接続方法を同時に使用することはできません。)

① 付属のAUXケーブルや市販のミニプラグを使用する場合

本体背面のAUX入力端子 (3.5 mm) に接続します。(※ 取付説明書の接続 ②)
この場合、接続した外部機器は、AUX1ソースとして認識されます。

② 別売のRCA / IP-BUS インターコネクターを使用する場合

接続する外部機器にRCA出力がある場合、別売のRCA / IP-BUS インターコネクター「CD-RB10」または「CD-RB20」を使用して、本機のIP-BUS入力端子に接続します。接続した外部機器は、AUX2ソースとして認識されます。詳しくは、RCA / IP-BUS インターコネクターの説明書をご覧ください。

③ IP-BUSを使用する場合 (パイオニア製ナビゲーションユニットを接続する場合)

別売のIP-BUSケーブル (例: 「CD-IP600」) を使用して、本機のIP-BUS入力に接続します。接続したナビゲーションユニットはAUX2ソースとして認識され、音声のみが出力されます。



1 初期設定メニューを表示する

(※ 初期設定 ① 93ページ)



2 ロータリーコマンダーを回す

外部機器設定 1 または外部機器設定 2 を選ぶ



3 ロータリーコマンダーを押す

外部機器設定がONになります
もう一度押すと、OFFになります。



4 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります



メモ

- AUX1は、初期設定がONになっています。AUX1を使用しない場合は、OFFにします。
- 外部機器の名称は、変更できます。接続した機器に合わせて名称を変更すると便利です。外部機器の名称を変更するには、(※ 便利な機能 ⑦ 106ページ)
- シガーライターからポータブルプレーヤーの充電を行いながらAUX入力で音楽を聞くと、ノイズが出る場合があります。その場合は、シガーライターからの充電をおやめください。

初期設定

7

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマー

車のライトをONにすると、ディスプレイが暗くなるように設定できます。

夜間にディスプレイがまぶしく感じられる場合、ディマー設定をONにすると便利です。



ご注意

- 輝度調整 (☞ 初期設定 ⑧) の設定を「0」にしているときは、ディマー設定をONにしても、効果はありません。

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 初期設定 ① 93 ページ)

2 ロータリーコマンドを回す

ディマー設定を選ぶ

3 ロータリーコマンドを押す

ディマー設定がONになります
もう一度押すと、OFFになります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります

初期設定

8

ディスプレイの明るさを調節する

輝度調整 (ブライト)

ディスプレイの明るさを調節できます。

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 初期設定 ① 93 ページ)

2 ロータリーコマンドを回す

輝度調整を選ぶ

3 ロータリーコマンドを左右に操作する

ディスプレイの明るさを調節する

明るくするとき： 右に操作する

暗くするとき： 左に操作する

明るさは0～15の範囲で調節できます。

4 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります



メモ

- ディマー設定 (☞ 初期設定 ⑦) がONのときは、輝度調整の範囲は、0～10になります。

初期設定

9

リアスピーカー出力を設定する

リアスピーカー出力の設定

リアスピーカー出力に接続するスピーカーの種類に合わせて、リアスピーカーの出力方法を選べます。

- ①フルレンジスピーカーを接続するとき：
「Rear SP:F.Range」に設定します
- ②サブウーファーを接続するとき：
「Rear SP:S/W」に設定します

リアスピーカー出力の設定を「Rear SP:S/W」に切り換えると、リアスピーカー端子にサブウーファーを直接接続できます。

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 初期設定 ① 93 ページ)

2 ロータリーコマンドを回す

S/W コントロールを選ぶ

3 ロータリーコマンドを押す

出力設定が、S/W (サブウーファー) に切り換わります

もう一度押すと、F.Range (フルレンジ) に切り換わります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります

初期設定

10

RCA 出力から出力される信号を選ぶ

RCA 出力設定

本機のRCA出力端子に外部アンプを接続し、フルレンジスピーカーまたはサブウーファーを使用できます。接続するスピーカーに合わせて、RCA外部出力端子から出力される信号を選びます。

- ①サブウーファーを接続するとき：
「Subwoofer」に設定します
- ②フルレンジスピーカーを接続するとき：
「Rear」に設定します



ご注意

- リアスピーカー出力の設定 (☞ 初期設定 ⑨) でリアスピーカー出力を「Rear SP:S/W」に設定したときは、RCA出力の設定はできません。

1 リアスピーカー出力を「F.Range」に設定する

(☞ 初期設定 ⑨)

2 ロータリーコマンドを回す

RCA 出力設定を選ぶ

3 ロータリーコマンドを押す

RCA 出力設定が、Rear (リアスピーカー) に切り換わります

もう一度押すと、Subwoofer (サブウーファー) に切り換わります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります

ミュート/アッテネートを切り換える

ミュート

ミュート機能のある製品からミュート信号を受け取ったときに、本機の音声をミュートにするかアッテネートにするかを選べます。

ミュート信号を受け取っているときの各設定の音量は、次のようになります。

- TEL mute : 音量「0」
- TEL ATT : 元の音量の約 1/10

ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的に元の音量に戻ります。

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 初期設定 ① 93 ページ)

2 ロータリーコマンドを回す

ミュート設定を選ぶ

3 ロータリーコマンドを押す

ミュート設定が、TEL ATT (アッテネーター) に切り換わります

もう一度押すと、TEL mute (ミュート) に切り換わります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります

フィーチャーデモを ON / OFF する

デモンストラーション

フィーチャーデモを ON / OFF できます。



フィーチャーデモとは

- フィーチャーデモは、本機の電源が OFF のときに、各ソースや本機の機能 (ファンクションやエンタテインメントなど) の画面を表示して紹介する機能です。

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 初期設定 ① 93 ページ)

2 ロータリーコマンドを回す

デモ設定を選ぶ

3 ロータリーコマンドを押す

デモ設定が OFF になります

もう一度押すと、ON になります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源が OFF になります



知っていると便利

- フィーチャーデモは、本機の電源が OFF のときに、DISP ボタンを押すことでも ON / OFF できます。

初期設定
13リバースモードを
ON / OFF する

リバースモード

リバースモードをON / OFF できます。



リバースモード（画面反転設定）とは

- リバースモードは、本機の電源がONのときに、30秒間操作しないと画面が自動的に反転する機能です。反転は、10秒間隔で行われます。

1

初期設定メニューを表示する

☞ 初期設定 ① 93ページ

2

ロータリーコマンドを回す

画面反転設定を選ぶ

3

ロータリーコマンドを押す

画面反転設定がOFFになります

もう一度押すと、ONになります。

4

BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります



知っている则便利

- リバースモードは、本機の電源がOFFのときに、BAND/ESC ボタンを押すことでもON / OFF できます。

初期設定
14スクロールの設定を
切り換える

連続スクロール

連続スクロール設定をONにすると、CDのタイトルなどを連続してスクロールするようになります。スクロールを一度だけにしたいときは、この機能をOFFにします。

1

初期設定メニューを表示する

☞ 初期設定 ① 93ページ

2

ロータリーコマンドを回す

連続スクロール設定を選ぶ

3

ロータリーコマンドを押す

連続スクロール設定がONになります
もう一度押すと、OFFになります。

4

BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります

Bluetooth オーディオ ソースをONにする

BT AUDIO

Bluetooth 無線技術を利用して、Bluetooth 対応機器を接続できます。Bluetooth 対応機器を接続している場合、BT Audio ソースの設定をONにします。



ご注意

- この機能は、別売の Bluetooth アダプター（例：「CD-BTB10」）を接続しているときだけ操作できます。

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 初期設定 ① 93 ページ)

2 ロータリーコマンドを回す

BT AUDIO 設定を選ぶ

3 ロータリーコマンドを押す

BT AUDIO 設定がOFFになります
もう一度押しすと、ONになります。

4 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります

Bluetooth のパス コードを変更する

パスコード編集

Bluetooth 接続時に使用する暗証番号（パスコード）を変更できます。初期設定は、「0000」になっています。



ご注意

- この機能は、別売の Bluetooth アダプター（例：「CD-BTB10」）を接続しているときだけ操作できます。
- 空白は入力できますが、無効な文字です。空白を入力した場合、以下の制限があります。
 - 途中に空白を入力した場合、それ以降の文字が無効となってパスコードが確定されます。
 - 先頭に空白を入力した場合、パスコードは確定されません。もう一度、パスコードを編集してください。

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 初期設定 ① 93 ページ)

2 ロータリーコマンドを回す

パスコード編集を選ぶ

3 パスコードを変更する

■ 入力する数字を選ぶとき

ロータリーコマンドを上下に操作する
次の数字を選ぶ：上に操作する
前の数字を選ぶ：下に操作する

■ 入力する位置を選ぶとき

ロータリーコマンドを左右に操作する
右に移動させる：右に操作する
左に移動させる：左に操作する

次のページへ続く

<つづき>

パスコード編集

4 ロータリーコマンドを押す

パスコードの編集を終了し、確認画面が表示されます

5 もう一度、ロータリーコマンドを押す

新しいパスコードに変更されます

6 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります



知っていると便利

- リモコンの0～9ボタンでも数字を入力できます。

初期設定

17

Bluetooth のバージョンを表示する

BTバージョン情報

本機のBluetooth のバージョン情報を表示させることができます。



ご注意

- この機能は、別売のBluetoothアダプター（例：「CD-BTB10」）を接続しているときだけ操作できます。

1 初期設定メニューを表示する

(☞ 初期設定 ① 93 ページ)

2 ロータリーコマンドを回す

BTバージョン情報を選ぶ

3 ロータリーコマンドを左右に操作する

Bluetooth のバージョン情報の表示を切り換えます

Bluetooth デバイスモジュールのバージョンを表示するとき：左に操作する

システムのマイコンのバージョンを表示するとき： 右に操作する

6 BAND/ESC ボタンを押す

初期設定メニューが解除され、電源がOFFになります

瞬時に音量を消す

ミュート

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を消せます。

1 リモコンのMUTE ボタンを押す

瞬時に音量が消えます

もう一度MUTE ボタンを押すと、解除されます。

カレンダーを表示する

カレンダー表示

以下の設定のとき、本機のディスプレイにカレンダーを表示できます。

■ エンタテインメント表示を「ENT CLOCK」に設定したとき
(※ 便利な機能 ⑥ 105 ページ)

■ 本機の電源がOFFの場合に、時計表示にしたとき
(※ 便利な機能 ③ 104 ページ)

■ 電話の待ち受けソース (BT-Telephone) にしたとき
(※ 携帯電話 ① 63 ページ)



メモ

● 日付を合わせるには、(※ 初期設定 ② 94 ページ)

便利な機能

3

時計を表示する

時計表示

本機のディスプレイに時計を表示できます。時計は、本機の電源がONのとき、または電源がOFFでフィーチャーデモをOFFしているときに表示されます。

1 CLOCK ボタンを長く押す

時計が表示されます

もう一度CLOCKボタンを長く押すと、時計表示が解除されます。



メモ

- 時計を合わせるには、(※ 初期設定 ④ 94 ページ)



ご注意

- 次の状態では、時計表示の切換はできません。
 - － 3行のタイトル表示をしているとき
 - － エンタテインメント表示、(※ 便利な機能 ⑥) で「ENT CLOCK」を選んでいるとき

便利な機能

4

よく使う機能を直接操作する

ダイレクトファンクション

リモコンのDFボタンは、よく使う機能を直接操作できます。

内蔵 CD / マルチ CD / USB / iPod / DVD / BT Audio のとき

1 リモコンのDFボタンを押す

再生を一時停止します

もう一度DFボタンを押すと、再生が始まります。

ラジオ / テレビのとき

1 リモコンのDFボタンを長く押す

BSM や BSSM が始まります

BSM や BSSM 動作中に、もう一度DFボタンを押すと、BSM や BSSM を解除します。

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

高速道路などで放送されている交通情報ラジオを、瞬時に受信できます。この機能は、電源OFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

1 TI ボタンを押す

交通情報を受信する

もう一度TIボタンを押すと、交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2 ロータリーコマンドを左右に操作する

交通情報の周波数を選ぶ

1 629 kHz を選ぶとき：右に操作する

1 620 kHz を選ぶとき：左に操作する



知っていると便利

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

エンタテインメントを表示する

エンタテインメント表示

音楽などを聞いているときに、ディスプレイの表示をさまざまなエンタテインメント表示から選べます。

1 ロータリーコマンドを押す

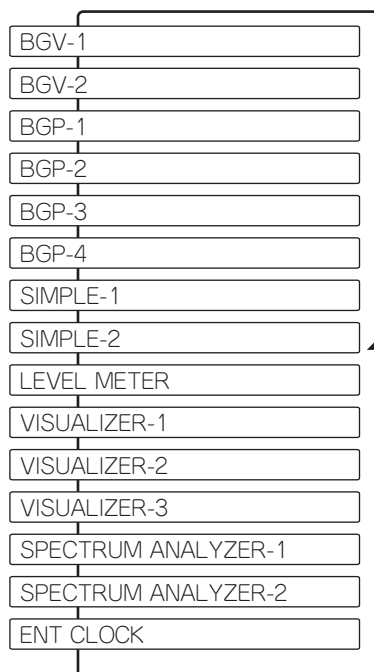
メインメニューが表示されます

2 エンタテインメントメニューにする

ロータリーコマンドを回して「ENTERTAINMENT」を選び、ロータリーコマンドを押す

3 ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すことに、次の順序でエンタテインメント表示が切り換わります



<つづき>

エンタテインメント表示

4 ロータリーコマンドを押す

選んだエンタテインメント表示が設定され、エンタテインメントメニューが解除されます



BGVとは

- BGVは、「Background Visual (バックグラウンドビジュアル)」の略です。



BGPとは

- BGPは、「Background Picture (バックグラウンドピクチャー)」の略です。



知っていると便利

- リモコンのENTボタンを押して、エンタテインメント表示を選ぶこともできます。



メモ

- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND/ESCボタンを押します。(30秒間何も操作しないと自動的にふだんの再生画面に戻ります。)

便利な機能

7

外部機器の名称を入力する

AUX (外部機器) 名称入力

外部機器 (AUX1、AUX2) の名称を本機に入力して、ディスプレイに表示させることができます。

たとえば、VTRを外部機器として本機に接続した場合は、初期状態で表示される「AUX1」または「AUX2」を「VTR」に変更して表示できます。

1 SRC ボタンを押す

AUX1 または AUX2 を選ぶ

2 ロータリーコマンドを押す

メインメニューが表示されます

3 タイトル入力にする

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

4 AUX (外部機器) の名称を入力して登録する

CDのタイトル入力の手順3以降を参照し、同様の操作でAUX (外部機器) の名称を入力してください。(CD 37ページ)



メモ

- 外部機器の名称は、10文字まで入力できます。

エクスターナルユニットを使う



エクスターナルとは

- 本機には、エクスターナルという特殊なソースがあります。このソースには、本機がソースとして対応していない製品(将来発売されるパイオニア製品など)を接続できます。ただしエクスターナルでは、操作できる機能が限られる場合があります。本機には、2 台のエクスターナル製品で接続できます。この場合、エクスターナル 1 とエクスターナル 2 が自動で設定されます。



ご注意

- ここでは、エクスターナルユニットの基本的な操作法だけ説明しています。機能は、接続するエクスターナルユニットによって異なります。機能について詳しくは、エクスターナルユニットの取扱説明書をご覧ください。

ソースとしてエクスターナルユニットを選ぶ

SRC ボタンを押して External を選ぶ

ふだんの操作

BAND/ESC を押す

BAND/ESC を長く押す

ロータリーコマンドを左右に操作する

ロータリーコマンドを左右に長く操作する

ロータリーコマンドを上下に操作する

1 ~ 6 キーに割り当てられた機能を使う

1

リモコンの 1 ~ 6 ボタンを押す

ファンクションメニューの切り換えかた

1

ロータリーコマンドを押す

メインメニューが表示されます

2

ファンクションメニューにする

ロータリーコマンドを回して FUNCTION を選び、ロータリーコマンドを押す

3

ロータリーコマンドを回す

次の順序で機能が切り換わります

ファンクション 1 ↔ ファンクション 2 ↔
ファンクション 3 ↔ ファンクション 4 ↔
オート / マニュアル



メモ

- DF ボタンを押すことでも、ファンクション 1 を ON / OFF することができます。
- ふだんの再生画面に戻るには、BAND/ESC ボタンを押します。

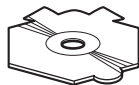
CDの正しい使いかた

使用できるCDについて

- 下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R／CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できない場合があります。（詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- 直射日光や高温など、車内での保管状況により、CD-R／CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R／CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）

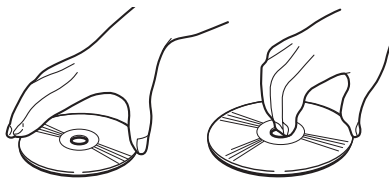
- ファイナライズされていないCD-R／CD-RWディスクには対応していません。
- CD-R／CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起る可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

取り扱い上のご注意

- CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

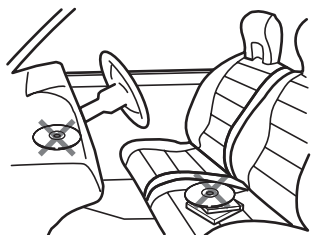


- CDにキズを付けないでください。
- CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

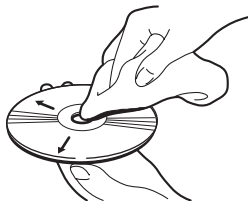
- 直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



- CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



CD再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。



メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

再生できる圧縮オーディオファイルについて

WMA とは？

- 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。



ご注意

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードした Windows Media Player のバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 画像データを含む WMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32 kHz～48 kHz です。
- 一般的に WMA ファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、以下の WMA ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録された WMA ファイルの使用をおすすめします。
 - － CBR (固定ビットレート) では 48 kbps～320 kbps、VBR (可変ビットレート) では 48 kbps～384 kbps
- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - － Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - － Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - － Windows Media Audio 9 Voice

再生できる WMA ファイルについて



ご注意

- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けしないでください。

MP3とは？

- 「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるMP3ファイルについて



ご注意

- MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子（.mp3）を付けてください。
- 本機は、拡張子（.mp3）が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子（.mp3）を付けしないでください。
- ID3 tagのVer. 1.0／1.1／2.2／2.3／2.4のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tagのVer. 1.XとVer. 2.Xが混在している場合は、Ver. 2.Xが優先されます。
- サンプリング周波数が32 kHz、44.1kHz、48 kHzのMP3ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応します。なお、再生可能なサンプリング周波数は、以下のとおりです。
 - － 16 kHz～48 kHz
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、以下のMP3ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128 kbps以上のビットレートで記録されたMP3ファイルの使用を推奨します。
 - － 8 kbps～320 kbps

AACとは？

- 「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できるAACファイルについて



ご注意

- AACファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子（.m4a）を付けてください。
- 本機は、iTunesで作成された拡張子（.m4a）が付いているファイルをAACファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AACファイル以外には拡張子（.m4a）を付けしないでください。
- 画像データを含むAACファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AACファイルをエンコードしたiTunesのバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- AACファイルをライティングしたiTunesのバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。
- 再生可能なAACファイルのサンプリング周波数は、以下のとおりです。
 - － 11.025 kHz～48 kHz
- 一般的にAACファイルは、ステレオビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、16 kbps～320 kbpsのステレオビットレートで記録されたAACファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ大きいステレオビットレートで記録されたAACファイルの使用を推奨します。VBR（可変ビットレート）で記録されたAACファイルは再生できません。

次のページへ続く

● iTunes ミュージックストアで購入された楽曲(.m4p)は、CD-R/CD-RW または USB 機器に記録して再生できません。

● この製品は、下記の形式には対応していません。

— Apple ロスレス・エンコーダ

WAV とは？

● 「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

再生できる WAV ファイルについて



ご注意

- WAV ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wav)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wav)が付いているファイルを WAV ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAV ファイル以外には拡張子(.wav)を付けしないでください。
- 本機は、LPCM 形式および MS ADPCM 形式でエンコードされた WAV ファイルの再生に対応しています。
- 本機は、LPCM 形式では 16 kHz ~ 48 kHz、MS ADPCM 形式では 22.05 kHz ~ 44.1 kHz のサンプリング周波数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- 一般的に WAV ファイルは、量子化ビット数が多いほど音質は良くなります。本機は、LPCM では 8 bit / 16 bit、MS ADPCM では 4 bit の量子化ビット数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ大きい量子化ビット数で記録された WAV ファイルの使用を推奨します。

使用できる USB 機器について

以下の条件を満たす USB 機器が使用できます。

- 規格：USB 2.0、1.1、1.0
- データ転送速度：Full Speed
- USB クラス：MSC (Mass Storage Class) デバイス
- プロトコル：バルク
- 最大メモリー容量：250 GB
- 最小メモリー容量：250 MB
- ファイルシステム：FAT 32、FAT 16
- 供給電流：500 mA



ご注意

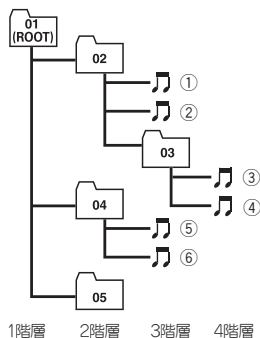
- 接続する USB 機器によっては、ラジオにノイズの影響を与えることがあります。
- パーティションを作った USB メモリーは使用できません。
- 使用する USB 機器の種類によっては、本機が正しく認識できない場合があります。また、曲を正しく再生できない場合があります。
- USB 機器は、本機のケーブルに直接接続してください。USB ハブを使用しての接続には対応していません。
- USB 機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、USB 機器は必ず固定してください。USB 機器が落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- USB メモリー、USB オーディオプレーヤー以外(USB 扇風機など)は接続しないでください。
- USB 機器の取り扱いについて詳しくは、それぞれの説明書をお読みください。

対応している圧縮オーディオファイルについて

- USB 機器に収録された WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを再生できます。
- 再生できるファイルの合計は、最大 15 000 ファイルです。
- 再生できるフォルダーの合計は、最大 500 フォルダーです。
- 8階層までの WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルの再生に対応しています。
- USB 機器のフォルダー階層が多い場合、再生が始まるまでに時間がかかります。
- 画像データを含む圧縮オーディオファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.wma 、 .mp3 、 .m4a、 .wav) を含めて半角で 64 文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は半角で 64 文字までです。(全角文字表示に対応している製品では、半角で 64 文字、全角で 32 文字まで表示できます。) ただし、文字コードの種類によって、最大表示文字数は半角で 32 文字になる場合があります。
- ファイルをエンコード / ライティングしたアプリケーションによっては、文字情報が正しく表示されないことがあります。
- m3u のプレイリストには対応していません。

USB メモリー内のフォルダーについて

- USB メモリー内のフォルダーと圧縮オーディオファイルの構成は、下図のようになります。USB ポータブルオーディオプレーヤーの場合の構成は、プレーヤーによって異なります。



- 01～05 はフォルダー番号の割り当て、①～⑥は曲の再生順の例です。ユーザーが本機でフォルダー番号を割り当てたり、再生の順番を指定することはできません。
- 圧縮オーディオファイルの再生の順序は、USB メモリーにコピーされた順番と同じです。
- 再生の順序を指定するには、次の方法を推奨します。
 - ① パソコンで、「001xxx.mp3」や「099yyy.wma」など順番を示す数字をファイル名の先頭に付ける。
 - ② それらのファイルをフォルダーに入れる。
 - ③ フォルダー単位で USB メモリーにコピーする。
ただし、パソコンの環境によってはこの方法で指定できない場合もあります。

その他 4 iPod について



ご注意

- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障するおそれがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本機と組み合わせて使用する場合、iPodは必ず固定してください。iPodが落下して、ブレーキペダルやアクセルペダルの下に滑り込むと大変危険です。
- iPodの取り扱いについて詳しくは、iPodの説明書をお読みください。

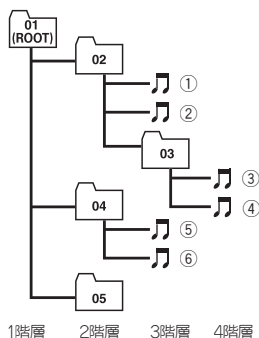
iPodの設定について

- 本機からiPodのイコライザは操作できません。本機にiPodを接続する前に、iPodのイコライザを「オフ」に設定することをおすすめします。
- iPodを本機に接続している場合、iPodのリピートは「オフ」に設定できません。また、iPodのリピートが「オフ」に設定されていても、本機に接続すると、自動的に「すべて」に変更されます。

その他 5 ディスク上の圧縮オーディオファイルについて

フォルダーと圧縮オーディオファイルについて

- WMA / MP3 / AAC / WAV ファイルを収録したCD-R / CD-RW / CD-ROMのイメージは下図のようになります。



- 本機はWMA / MP3 / AAC / WAVファイルが記録されたCD-R / CD-RW / CD-ROMの再生に対応しています。ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (wma、.mp3、.m4a、.wav) を含めて半角で64文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は半角で64文字までです。(全角文字表示に対応している製品では、半角で64文字、全角で32文字まで表示できます。)

- 拡張フォーマット（Romeo）に準拠して記録されたファイルの場合、半角で先頭から64文字までの表示に対応しています。（全角文字表示に対応している製品では、半角で64文字、全角で32文字まで表示できます。）
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。
- 曲間（トラック間）にブランクがないCDを、WMA／MP3／AAC／WAVファイルとしてCD-R／CD-RW／CD-ROMに記録して再生した場合、曲間が音飛びしたように聞こえます。



メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクに、WMA／MP3／AAC／WAVファイルと音楽データ（CD-DA）が混在しているときは、WMA／MP3／AAC／WAVファイルと、音楽データ（CD-DA）を切り換えることができます（※ **ここだけで ② 23 ページ**）。WMA／MP3／AAC／WAVファイルと、音楽データ（CD-DA）を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- WMA／MP3／AAC／WAVファイルを含まないフォルダーは認識しません。（フォルダー番号を表示せず、スキップします。）
- 8階層までのWMA／MP3／AAC／WAVファイルの再生に対応しています。ただし、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が99個まで再生可能です。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。(☞ はじめに ⑥ 15ページ)

それでも直らないときは

「保証書とアフターサービス」(☞ その他 ⑧ 121ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

共通項目

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-------------------------|--|--|
| 電源が入らない。 動作しない。 | 各リード線やコネクターが正しく接続されていない。 ヒューズが切れている。 | 正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(☞ 取付説明書) ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。(☞ 取付説明書) |
| 音が出ない。 音が小さい。 | 音量を下けている。 ミュートがONになっている。 前後の音量バランスの調節が適切でない。 | 音量を上げてください。(☞ ここだけで ① 20ページ) ミュートを解除してください。(☞ 便利な機能 ① 103ページ) 正しく調節してください。(☞ 音の調節 ③ 86ページ) |
| 前または後ろのスピーカーから音が出ない。 | 前後の音量バランスの調節が適切でない。 | 正しく調節してください。(☞ 音の調節 ③ 86ページ) |
| 左または右のスピーカーから音が出ない。 | 左右の音量バランスの調節が適切でない。 | 正しく調節してください。(☞ 音の調節 ④ 86ページ) |
| 音量が自動的に変化する。 | ASLがONになっている。 | ASLを解除してください。(☞ 音の調節 ④ 92ページ) |
| ディスプレイが反転表示する。 | リバースモードがONになっている。 | リバースモードを解除してください。(☞ 初期設定 ⑫ 100ページ) |
| 電源をOFFにしても映像が出ている。 | フィーチャーデモがONになっている。 | フィーチャーデモを解除してください。(☞ 初期設定 ⑫ 99ページ) |
| ディスプレイの表示がおかしい。 | エンタテインメント表示が設定されている。 | お好みの表示を選んでください。(☞ 便利な機能 ⑥ 105ページ) |
| エンジンを切ったら警告音が鳴る。 | デタッチワーニングがONになっている。 | フロントパネルを取り外してください。フロントパネルを取り外さない場合は、デタッチワーニングをOFFにしてください。(☞ 初期設定 ④ 95ページ) |
| エンジンを切ったらフロントパネルが自動で開く。 | フェイスオートオープンがONになっている。 | フロントパネルを取り外してください。フロントパネルを取り外さない場合は、フェイスオートオープンをOFFにしてください。(☞ 初期設定 ⑤ 95ページ) |

ラジオ

| 症状 | 原因 | 処置 |
|------------------------------|------------------------|--|
| ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。 | 放送局の周波数が合っていない。 | 周波数を正しく合わせてください。 (<small>☞</small> ここだけで② 24 ページ) |
| | 放送局の電波が弱い。 | 他の放送局を選局してみてください。 (<small>☞</small> ここだけで② 24 ページ) |
| | 周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。 | 受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。 |
| 自動選局できない。 | 放送局の電波が弱い。 | 手動で選局してください。 (<small>☞</small> ここだけで② 24 ページ) |

CD、WMA / MP3 / AAC / WAV

| 症状 | 原因 | 処置 |
|-----------------------------|------------------|---|
| CD再生中、大きな雑音が出る。 | CDに大きなキズやそりがある。 | 他のCDに交換してください。良くなれば、CDの不良です。 |
| CDの再生が途中で止まる。 CDを再生できない。 | CDが極端に汚れている。 | CDの汚れをふき取ってください。 (<small>☞</small> その他 ① 109 ページ) |
| | CDにくもりや水滴が付いている。 | CDのくもりや水滴をふき取ってください。 (<small>☞</small> その他 ① 109 ページ) |
| | CDの裏表を逆にセットしている。 | CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(<small>☞</small> ここだけで ② 22 ページ) |
| CDを再生できない。 CDを取り出せない。 | 本機がディスクを認識していない。 | フロントパネルを開けた状態で、▲ボタンを長く押しと、ディスクを取り出せます。もう一度、入れなおしてください。 |

こんなメッセージが表示されたら

CD、WMA / MP3 / AAC / WAVのエラー表示

| メッセージ (エラー番号) | 原因 | 処置 |
|--|--|---|
| 「ERROR-10」 「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-15」 「ERROR-17」 「ERROR-30」 「ERROR-50」 「ERROR-A0」 | 電気系、機構系の故障が考えられる。 | 車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。 |
| 「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」 | CDが汚れている。 | CDの汚れをふき取ってください。 |
| | CDにキズやひびがある。 | CDを交換してください。 |
| 「ERROR-12」 「ERROR-15」 「ERROR-17」 | CD-R / CD-RWを録音しないまま使用している。 | CD-R / CD-RWは録音してからお使いください。 |
| 「ERROR-23」 | 再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入した。 | CDを交換してください。 |
| 「No Audio」 | 何も録音されていないCD-ROMを挿入した。 | WMA / MP3 / AAC / WAVファイルの記録されているCD-ROMと交換してください。 |
| 「PROTECT」 | ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている。 | CDを交換してください。 |
| 「TRK SKIPPED」 | デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたWMAファイルを再生した。 | デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。 |



メモ

- マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

USBのエラー表示

| メッセージ (エラー番号) | 原因 | 処置 |
|---------------|--|---|
| 「CHECK USB」 | USB コネクタまたはUSB ケーブルがショートした。 | USB コネクタ／USB ケーブルが何かにはさまっていないか、破損していないか確認してください。 |
| | 規定 (※ ¹ その他 ④ 112 ページ) 以上の電流を消費するUSB 機器を接続した。 | 接続したUSB 機器を外してください。そのあとで、車のエンジンスイッチを一度OFF にしてからON にしてください。次に、対応するUSB 機器を接続してください。 |
| 「N/A USB」 | 接続されたUSB 機器が本機に対応していない。 | USB Mass Storage Class 対応のUSB 機器を接続してください。 |
| 「No Audio」 | 何も収録・保存されていないUSB 機器を接続した。 | 対応する圧縮オーディオファイルが収録・保存されたUSB 機器を接続してください。 |
| | セキュリティー機能付きのUSB メモリーを接続した。 | USB メモリーの説明書に従って、セキュリティーを解除してから使用してください。 |
| 「PROTECT」 | USB 機器内のすべてのWMA ファイルが Windows Media DRM 9 / 10 で保護されている。 | Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを収録・保存したUSB 機器を接続してください。 |
| 「TRK SKIPPED」 | Windows Media DRM 9 / 10 で保護されたWMA ファイルを再生した。 | Windows Media DRM 9 / 10 で保護されていない圧縮オーディオファイルを再生してください。 |
| 「ERROR-19」 | 正常に通信できない。 | 以下のいずれかの処置を行ったあと、ソースをUSB に切り換えてください。車のエンジンスイッチを一度OFF にしてからON する。／接続したUSB 機器を一度外してから接続する。／別のソースに切り換える。 |
| 「ERROR-23」 | 接続されたUSB 機器のフォーマットが、FAT32かFAT16のトが、FAT32かFAT16ではない。 | フォーマットが、FAT32かFAT16のトが、FAT32かFAT16ではない。USB 機器を接続してください。 |

次のページへ続く

iPodのエラー表示

| メッセージ (エラー番号) | 原因 | 処置 |
|---------------------------|---------------------------------------|--|
| 「CHECK USB」 「ERROR-A1」 | iPodは動作するが、充電されない。 | iPod ケーブルがショートしていないか (たとえば、金属物にはさまれていないか) 確認してください。確認後、車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、iPodを一度脱着してください。 |
| 「ERROR-19」 | 正常に通信できない。 iPodに問題が発生した。 | コネクタを一度外し、iPodのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPodが正常に動作しない場合は、iPodをリセットしてください。 |
| 「N/A USB」 | iPodソフトウェアのバージョンが古い。 iPodに問題が発生した。 | iPod ソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。 iPodをリセットしてください。 |
| 「ERROR-16」 | iPodソフトウェアのバージョンが古い。 iPodに問題が発生した。 | iPod ソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。 コネクタを一度外し、iPodのメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでもiPodが正常に動作しない場合は、iPodをリセットしてください。 |
| 「No Songs」 | iPodに曲が入っていない。 | iPodに曲を転送してください。 |
| 「STOP」 | 選んだプレイリストに曲が入っていない。 | 曲が入っているプレイリストを選んでください。 |

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることを確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 共通部

使用電源：

DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式：

マイナスアース方式

最大消費電流：

10.0 A

外形寸法：

(取付寸法)：

178 (W) mm × 50 (H) mm × 165 (D) mm

(ノーズ寸法)：

170 (W) mm × 45 (H) mm × 18 (D) mm

質量：

1.5 kg (コード含まず)

■ アンプ/オーディオ部

最大出力：

50 W × 4

50 W × 2 ch / 4 Ω + 70 W × 1 ch /

2 Ω (for サブウーファー)

定格出力：

22 W × 4

(50 Hz ~ 15 000 Hz, 5 % THD)

負荷インピーダンス：

4 Ω ~ 8 Ω × 4

4 Ω ~ 8 Ω × 2 + 2 Ω × 1

プリアウト最大出力レベル：

2.2 V

出力インピーダンス：

1 k Ω

イコライザー

(7バンド グラフィック イコライザー)：

周波数: 50 / 125 / 315 / 800 /

2k / 5k / 12.5k Hz

調整幅: ± 12dB (2dB step)

ラウドネスコンター：

(LOW)：

3.5 dB (100 Hz)

3 dB (10 kHz)

(MID)：

10 dB (100 Hz)

6.5 dB (10 kHz)

(HIGH)：

11 dB (100 Hz)

11 dB (10 kHz)

(ボリューム：-30 dB)

ハイパスフィルター：

周波数: 50 / 63 / 80 / 100 / 125 Hz

スロープ: -12 dB / oct

サブウーファー出力：

周波数: 50 / 63 / 80 / 100 / 125 Hz

スロープ: -18 dB / oct

調整幅: +6 dB ~ -24 dB

位相: NORMAL / REVERSE

バスブースター：

調整幅: +12 dB ~ 0 dB

■ CD プレーヤー部

形式：

コンパクトディスクオーディオシステム

使用ディスク：

コンパクトディスク

信号フォーマット：

サンプリング周波数：

44.1 kHz

量子化ビット数：

16ビット直線

周波数特性：

5 Hz ~ 20 000 Hz (± 1 dB)

S/N比：

94 dB (1 kHz)

(IHF-A ネットワーク)

ダイナミックレンジ：

92 dB (1 kHz)

チャンネル数：

2 (ステレオ)

WMA デコーディングフォーマット：

Ver. 7, 7.1, 8, 9, 10, 11 (2 ch audio)

(Windows Media Player)

MP3 デコーディングフォーマット：

MPEG-1 & 2 AUDIO LAYER-3

AAC デコーディングフォーマット：

MPEG-4 AAC

(Ver. 7.2 以前の iTunes でエンコードさ

れたもののみ)

WAV シグナルフォーマット：

Linear-PCM, MS ADPCM

■ USB部

USB規格：

USB 2.0 Full Speed

最大供給電流：

500 mA

最大メモリー容量：

250 GB

ファイルシステム：

FAT16、FAT32

WMAデコーディングフォーマット：

Ver. 7、7.1、8、9、10 (2 ch audio)
(Windows Media Player)

MP3デコーディングフォーマット：

MPEG-1、2 & 2.5 AUDIO LAYER-3

AACデコーディングフォーマット：

MPEG-4 AAC
(Ver. 7.2 以前のiTunes でエンコードされたもののみ)

WAVシグナルフォーマット：

Linear-PCM、MS ADPCM

■ FMチューナー部

受信周波数帯域：

76.0 MHz ~ 90.0 MHz

実用感度：

8 dBf (0.7 μ V / 75 Ω 、
モノラル、S/N : 30 dB)

S/N：

75 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率：

0.3 % (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)、
0.1 % (65 dBf 入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性：

30 Hz ~ 15 000 Hz (\pm 3 dB)

ステレオセパレーション：

45 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域：

522 kHz ~ 1 629 kHz (9 kHz)

実用感度：

18 μ V (S/N : 20 dB)

S/N：

65 dB (IHF-A ネットワーク)

■ 付属品

| | |
|-----------------|-------|
| コードユニット | : 1 式 |
| AUXケーブル | : 1 |
| 取付ネジ類 | : 1 式 |
| 取扱説明書 | : 1 |
| 取付説明書 | : 1 |
| リモコン | : 1 |
| リチウム電池 (CR2025) | : 1 |
| 安全上のご注意 | : 1 |
| 保証書 | : 1 |
| ご相談窓口・修理窓口のご案内 | : 1 |



メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター (全国共通フリーフォン)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00 (弊社休業日は除く)

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話 ☎ **0070-800-8181-11** 【一般電話】 **03-5496-8016**

ファックス **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター (沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～19:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 ☎ **0120-5-81028** 【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス ☎ **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション (沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話 【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス **098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品(付属品・リモコン・取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00 (弊社休業日は除く)

電話 ☎ **0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス ☎ **0120-5-81096**

パイオニア株式会社

© パイオニア株式会社 2007

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

< KOKZX > < 07J00000 > < CRA4119-A/N >